

<特集「受動表現」「アスペクト」「モダリティ」「ヴォイスとその周辺」他>

チャクマ語：特集補遺データ「受動表現」「アスペクト」「モダリティ」「ヴォイスとその周辺」「所有・存在表現」「他動性」「連用修飾複文」「情報構造と名詞述語文」「情報構造の諸要素」「否定，形容詞と連体修飾複文」

**Chakma: ‘Passive expression’, ‘Aspect’, ‘Modality’, ‘Voice and related expressions’, ‘Expressions of possession and existence’, ‘Transitivity’, ‘Complex sentences of adverbial modification’, ‘Information structure and nominal predicate sentences’, ‘Markers of information structure’ and ‘Negation, adjectives, and complex sentences of adnominal modification’**

藤原 敬介

HUZIWARA Keisuke

兵庫県立大学

University of Hyogo

**要旨：**本稿は特集補遺「受動表現」「アスペクト」「モダリティ」「ヴォイスとその周辺」「所有・存在表現」「他動性」「連用修飾複文」「情報構造と名詞述語文」「情報表示の諸要素」「否定，形容詞と連体修飾複文」（『語学研究所論集』第14–23号，2009–2018，東京外国語大学）に寄与するものである。

**Abstract:** This report contributes to the special cross-linguistic study on ‘Passive expression’, ‘Aspect’, ‘Modality’, ‘Voice and related expressions’, ‘Expressions of possession and existence’, ‘Transitivity’, ‘Complex sentences of adverbial modification’, ‘Information structure and nominal predicate sentences’, ‘Markers of information structure’ and ‘Negation, adjectives, and complex sentences of adnominal modification’ (*Journal of the Institute of Language Research* 14–23, 2009–2018, Tokyo University of Foreign Studies).

**DOI:** <https://doi.org/10.15026/0002001475>

**キーワード：**受身，アスペクト，モダリティ，ヴォイス，所有，存在，他動性，複文，連用修飾複文，情報構造，名詞述語文，否定，形容詞，連体修飾複文

**Keywords:** passive, aspect, modality, voice, possession, existence, transitivity, complex sentence, adverbial modification, information structure, nominal predicate, negation, adjectives, adnominal modification

## 0. はじめに\*

本稿では風間 (2020) に即してチャクマ語 (ISO 639-3 ccp) のデータを提供する。



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ表示 4.0 国際ライセンス (CC-BY) 下に提供します。  
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

\* 本稿でもちいる略号のうちライプツィヒグロス規則にないものは、以下のとおりである。ANDV: andative; ELAB: elaborate element; EMPF: emphatic; EP: epenthetic sound; ESS: essive; EV: evidential; HBT: habitual; HON: honorific; NMLS: nominaliser; PQ: polar question; PSN: person name; SEQ: sequential; SFP: sentence final particle; VEN: venitive; VN: verbal noun. なお、本稿は科学研究費補助金（課題番号 24K03854）による研究成果の一部である。

## 0-1 文字と表記

チャクマ語には固有のチャクマ文字がある。チャクマ文字はユニコードにも登録されている。チャクマ文字は学校教育でもちいらはじめている。ただし、一般的にもちいられているとはいえない。正書法が確立しているともいいがたい。

本稿におけるチャクマ語表記は簡易音声表記である。音韻論的な解釈と本稿での表記との間にはずれがみられる。

本稿における表記上の注意は、以下のとおりである。

1. チャクマ語の音素は/a, ɛ, e, i, ɔ, o, u; p [p,  $\phi$ ], b [b,  $\beta$ ], t, d, c [tʃ, s], j [dʒ, z], k [k, x~h], g [g,  $\gamma$ ], m, n, ŋ, l, r/である。後述するように、[s] や [h] は音声的には存在するけれども、音素的ではない。このほか、部分的に鼻母音があらわれる。
2. アクセントは高低が弁別的である。本稿では高アクセント (H) については鋭アクセント記号 (´) であらわす。低アクセント (L) については表記しない。
3. /p/は語頭では [ $\phi$ ], それ以外では [p] である。/k/は語頭では [x]~[h],<sup>1</sup> それ以外では [k] である。同様に、/c/は、原則としては、語頭では [s], それ以外の位置では [tʃ] である。<sup>2</sup> これらについては、本稿では、語頭ではそれぞれ  $\phi$ , x, s, それ以外の位置では p, k, c として表記する。
4. /t/は語頭で高アクセントのときは [tʰ] となる傾向にあり、それ以外では [t] である。本稿では、音韻表記として t と表記する。
5. /b/は語中では重子音の要素としてのみあらわれる傾向にある。単子音の/b/は、語頭では [b], 母音間では [ $\beta$ ] となる傾向にある。
6. /g/は語中では重子音の要素としてのみあらわれる傾向にある。単子音の/g/は、語頭では [g], 母音間では [ $\gamma$ ] となる。ただし、[ $\gamma$ ] はほぼ常に脱落する。
7. /j/は語頭では [dʒ], 母音間では前舌母音 (/i, e/) の前では [dʒ], その他の母音の前では [z] である。本稿では両者を音韻表記し、常に j と表記する。
8. y [j] は音声的にはきこえる。基本的にはわたり音として母音間であらわれる。語頭であらわれる例は未確認である。y [j] については語末であらわれる例もある。

母音間の y [j] については完全に予測可能であるけれども、本稿では表記する。たとえば /i-yán/は i-yán [iján] ‘this-DEF’ となる。

語末の y [j] については、音韻論的には母音の/i/とできるかもしれない。しかし、/i/の前では母音/ɔ/は逆行同化して [o] になることが予想されるにもかかわらず、[noʃ] ‘be.NEG.PRS’ (この語は人称変化しない) のように変化しない例がある。したがって、語末では y と表記する必要がある。

<sup>1</sup> 藤原 (2019) など、筆者による従来の記述では [h] としてきた。その理由は、チャクマ語話者の内省ではベンガル語の/h/と類似しており、チャクマ語をベンガル文字表記するばあいには h で表記され、筆者にも日本語の [h] とおなじようにきこえていたからである。しかし、音韻論的には/k/であるから、対応する摩擦音である [x] とするほうが自然である。また、よく観察すると、軟口蓋でのよわい摩擦音で発音されることもあることがわかった。

<sup>2</sup> ただし/acto/ [aʲtto] ‘eight’ のように、/t/に先行するばあいには硬口蓋化して先行する母音の音色に影響をあたえるようにきこえる。

9. *w* についても，基本的にはわたり音としてあらわれる．原則としては語頭ではあらわれない．ただし *riccé-wala* ‘rikshaw-having’ のように借用語においては予測不能の位置であらわれる例もある．そこで本稿では *w* と表記する．
10. 有声交替する子音は基底形である無声子音に ‘*v*’ を下付することによってしめす：本稿であらわれるものは，*p* (/b/), *t* (/d/), *ç* (/j/), *k* (/g/) である．
11. 拘束形態素の母音：基底形の /ɔ/ は， /i/ の前では逆行同化して [o] となる傾向にある．
12. 挿入母音：子音でおわる語に格標識 (-*r* ‘-GEN’, -*ré* ‘-ACC’, -*t* ‘-LOC’, -*ttún* ‘-ABL’) が後続するばあい，母音-ɔ が挿入される．例： *φɔt-ɔ-t* ‘road-EP-LOC’
13. 鼻母音はほぼ音素的ではない． /ŋ/ の前後の母音が鼻母音となる．ただし， /ŋ/ は脱落することがおおく，結果として鼻母音のみがのこる傾向にある．例： *teŋa* [tɛŋã]~[tɛjã] ‘money’．なお， *ĩ* ‘yes’ とその派生形式のみが， /ŋ/ の痕跡なく鼻母音があらわれる例として確認される．
14. 重子音化規則：チャクマ語における子音連続は重子音化する傾向にある．本稿で頻発するものは名詞化標識の =*te* や目的をあらわす =*tey* である．これらに閉鎖子音が先行すると *t* と同化して *tt* となる．例： *ejér=te* [ɛzɛttɛ] ‘come.3SG.PRS.PROG=NMLS’．他方，共鳴音が先行すると，*t* が共鳴音に同化する．例： /*rannónŋ=te*/ *rannónŋ=ŋɛ* ‘cook.1SG.PRS.PRF=NMLS’．他方，定辞の -*bó* のように，先行する子音に同化して重子音化するものもある．例： /*manúc-bó*/ *manúc-có* ‘person-DEF’．
15. アクセントは高低の相違が弁別的である．拘束形態素のアクセントは，先行する音節のアクセントに影響をうける．
- アクセント同化規則：基底形で高アクセントの語に基底形で低アクセントの拘束形態素が後続すると，その低アクセントは高アクセントであらわれる．  
たとえば，基底形で低アクセントの *φɔt* ‘road’ に場所格接辞がつくと，挿入母音 *ɔ* がはいり， *φɔt-ɔ-t* ‘road-EP-LOC’ となる．したがって，挿入母音の基底形でのアクセントは低アクセントと推定される．他方，基底形で高アクセントの *gór* ‘house’ に場所格接辞がつくと，アクセント同化規則により， *gór-ɔ-t* ‘house-EP-LOC’ となる．
  - アクセント異化規則：基底形で高アクセントの語に基底で高アクセントの拘束形態素が後続すると，その高アクセントは低アクセントであらわれる．  
たとえば，基底形で低アクセントの *φɔt* ‘road’ に目的格接辞がつくと *φɔt-ɔ-ré* ‘road-EP-ACC’ となる．したがって，目的格接辞の基底でのアクセントは高アクセントと推定される．他方，基底形で高アクセントの *gór* ‘house’ に目的格接辞がつくと，アクセント同化規則により挿入母音は高アクセントであらわれるけれども，アクセント異化規則により，目的格接辞は低アクセントであらわれ， *gór-ɔ-ré* ‘house-EP-ACC’ となる．
  - 基底形が二音節で「低高」アクセントのばあい，高アクセントの接辞がつくと「低高低」アクセントとなることが予想される．しかし実際には「低高高」アクセントとなる．  
例： *boóy-bó* ‘book-DEF’
16. {A/B} で「A でも B でも可能」という意味である．  
例： *sóbi-bo degí-lé* {*xana/soḵ-ó+φaní*} *ejé*. ‘picture-DEF see.CV-COND {cry.VN/eye-EP+water} become.3SG.PRS’ 「その映画を見ると泣くようになる（直訳：{泣き/涙}が来る）」という例では，

*sóbi-bo degí-lé xana ejé.* でも *sóbi-bo degí-lé sok-ó+phaní ejé.* でもよいということをあらわす。

17. (A) で「A は任意の要素」という意味である。

例: *xu(g)ur* ‘dog’ は, *huur* とともに *hugur* とともに発音されうることをあらわす。

## 0-2 資料について

本稿で提示するチャクマ語資料は、チャクマ語の母語話者であるバングラデシュ・チッタゴン丘陵出身の SC さん（1970 年代生まれ）による。SC さんは 1990 年代に来日し、日常的には日本語を使用している。ただし、在日チャクマ人との交流がおおく、定期的にバングラデシュのチャクマ人とも電話等で会話しているため、チャクマ語も流暢である。

作業にあたっては、[風間 \(2020\)](#) に提示された英語をベンガル語に翻訳した [藤原 \(2022\)](#) をおもに使用した。そして、日本語を媒介言語として、日本語原文も参考に、適宜修正した。本稿では、本稿でのチャクマ語表記、英語による語釈、日本語訳の順で提示した。日本語訳は、日本語としては不自然であっても、チャクマ語からの直訳にちかいものをしめすようにした。

## 0-3 先行研究

チャクマ語研究には [Grierson \(1903\)](#) 以来の伝統がある。もっともまとまった記述としてはチャクマ語の全体像を記述した [Bhattacharyya \(2004\)](#) がある。主として歴史言語学的観点からチャクマ語をあつかう [Debnath \(2025\)](#) にも詳細な記述がみられる。このほか、音韻論としては [Maniruzzaman \(1984\)](#) も有用である。しかしながら、本稿で提示するような、さまざまな種類の構文をあつかった研究は管見のかぎりでは存在しない。

## 1. 受動表現（語研論集 第 14 号）

### 1-1 A は B に叩かれた。【直接受身】

- (1) a. *mina raju-r mer xéye.*  
PSN PSN-GEN beat(n) eat.3SG.PRS.PRF  
「ミナはラジュの殴りをくらった」
- b. *mina raju-ttún<sup>3</sup> mer<sup>4</sup> xéye.*  
PSN PSN-ABL beat(n) eat.3SG.PRS.PRF  
「ミナはラジュから殴りをくらった」

<sup>3</sup> チャクマ語において *-ttún* ‘-ABL’ のように拘束形態素が重子音ではじまるものは他に確認されておらず、不自然である。ところで、*-ttún* は、*-t-tún* ‘-LOC-ABL’ あるいは *-r-tún* ‘-GEN-ABL’ と分析できるものとおもわれる。ここで、一人称代名詞の奪格形式が *mottún* であり、属格形式が *mor* である一方、*mot* のような場所格形式は確認されていない。したがって、奪格の形式は属格の形式に *-tún* が付加したあとで、属格の *-r* が同化して *-t* になったとかがえることはできる。[Bhattacharyya \(2004: 131\)](#) もそのように解釈している。ただし、本稿筆者による資料の中では代名詞の奪格形式以外の根拠がみいだせない。そこで、本稿では *-ttún* ‘-ABL’ としておく。

<sup>4</sup> *mer* ‘beat(n)’ は *mara* ‘beat.VN’ と交替可能である。だが、(1a) では交替不可という。なお、*mara* ‘beat.VN’ には ‘kill.VN’ という意味もある一方、*mer* には ‘beat(n)’ という意味しか確認されない。

1-2 AはBに足を踏まれた。【持ち主の受身，体の部分】

- (2) a. mina rajū-ttún téŋ-ó-t úrá xéye.  
 PSN PSN-ABL foot-EP-LOC tread.VN eat.3SG.PRS.PRF  
 「ミナはラジュのところから足において踏むことをくらった（意訳：足で踏まれた）」
- b. rajū-r téŋ-an mina-r téŋ-ó-t laggé.  
 PSN-GEN foot-DEF PSN-GEN foot-EP-LOC touch.3SG.PRS.PRF  
 「ラジュの足がミナの足のところに触れた」
- c. rajū-r téŋ-an mina-r téŋ-ó-r u(g)urε laggé.  
 PSN-GEN foot-DEF PSN-GEN foot-EP-GEN place.above touch.3SG.PRS.PRF  
 「ラジュの足がミナの足の上に触れた」

1-3 AはBに財布を盗まれた。【持ち主の受身，持ち物】

- (3) a. mina-r te(ŋ)a+xóllé-bo rajū-r diney sur óye.  
 PSN-GEN money+bag-DEF PSN-GEN through steal(n) become.3SG.PRS.PRF  
 「ミナの財布はラジュによって盗みが生じた」
- b. mina-r te(ŋ)a+xóllé-bo rajū-ré diney sur gɔrá óye.  
 PSN-GEN money+bag-DEF PSN-ACC through steal(n) do.VN become.3SG.PRS.PRF  
 「ミナの財布は誰かがラジュに命じて盗ませた（直訳：ミナの財布はラジュをつかって盗むことがなされた）」

1-4 昨日の夜，私は赤ん坊に泣かれた。それでちっとも眠れなかった。【自動詞からの間接受身】

- (4) a. gelle reŋ-ɔ-t guro-bó xanné, sɛnóddey ɛkka=ó gúm  
 gone night-EP-LOC child-DEF cry.3SG.PRS.PRF therefore only.a.little=even sleep(n)  
 jey nó-φάρóŋ.<sup>5</sup>  
 go.CVB NEG.PRF-NEG.can.1SG.PRS.PRF  
 「昨夜，その赤ん坊が泣いた，だから少しも寝られなかった」
- b. gelle reŋ-ɔ-t guro-bó(-r) xana(-na<sup>6</sup>)-r xarɔn-ε ɛkka=ó  
 gone night-EP-LOC child-DEF(-GEN) cry.VN(-VN)-GEN reason-ADV only.a.little=even  
 gúm jey nó-φάρóŋ.  
 sleep(n) go.CVB NEG.PRF-NEG.can.1SG.PRS.PRF  
 「昨夜，その赤ん坊の泣き声の理由で，少しも寝にいけなかった」

<sup>5</sup> 現在完了形の否定形は，形式的には「高声調の否定辞 + 現在形」である。 *nó-φάρóŋ* という形式は，本来は \**nó-φarɔŋ* (H-LL) が推定されるけれども，声調の連声により， *nó-φάρóŋ* (H-HH) となっている。

<sup>6</sup> *xana* と *xana-na* はここでは同義である。ただし，形式的には， *xana-na* のほうが派生形式であり，使役の意味をもつ場合がある。

1-5 新しいビルが (A によって) 建てられた。【モノ主語受身, 一次的】

- (5) nuo billíŋ {bana/bana-na<sup>7</sup>} óye.  
 new building {make.VN/make.VN-VN} become.3SG.PRS.PRF  
 「新しいビルが作られた」

1-6 バングラデシュではベンガル語が話されている。【モノ主語受身, 恒常的. 動作主が問題にならない場合】

- (6) a. ba(ŋ)ala+deŋ-ó-t ba(ŋ)ala+xɔdá xɔn.  
 Bengal+country-EP-LOC Bengal+language speak.3PL.PRS  
 「バングラデシュではベンガル語を (人々は) 話している」  
 b. ba(ŋ)ala+deŋ-ó-t ba(ŋ)ala+xɔdá xɔná óy.  
 Bengal+country-EP-LOC Bengal+language speak.VN become.3SG.PRS  
 「バングラデシュではベンガル語を話すことになっている」

1-7 財布が (A に) 盗まれた。【モノ主語受身, モノ主語の背後に被影響者が想定される】

- (7) a. te(ŋ)a+xóllé-bo rajú-r diney sur óye.  
 money+bag-DEF PSN-GEN through steal(n) become.3SG.PRS.PRF  
 「財布はラジュによって盗みが生じた」  
 b. te(ŋ)a+xóllé-bo rajú-ré diney sur gɔrá óye.  
 money+bag-DEF PSN-ACC through steal(n) do.VN become.3SG.PRS.PRF  
 「財布はラジュをつかって盗むことがなされた」

1-8 壁に絵が掛けられている。【モノ主語受身, 結果状態の叙述】

- (8) a. sóbi-bo dɛal-ɔ-t taŋa óye.  
 picture-DEF wall-EP-LOC hang.VN become.3SG.PRS.PRF  
 「その絵は壁に掛けられている」  
 b. ??dɛal-ɔ-t taŋɛ sóbi(-bo) agé.  
 wall-EP-LOC hang.CV picture(-DEF) exist.3SG.PRS  
 「??壁にかけた絵がある」  
 c. dɛal-ɔ-t sóbi-bo taŋɛ agé.  
 wall-EP-LOC picture-DEF hang.CV exist.3SG.PRS  
 「壁にその絵をかけたのがある」  
 d. sóbi-bo dɛal-ɔ-t taŋɛ<sup>8</sup> agé.  
 picture-DEF wall-EP-LOC hang.CV exist.3SG.PRS  
 「その絵は壁にかけたのがある」

<sup>7</sup> bana と bana-na はここでは同義である。ただし、形式的には, bana-na のほうが派生形式であり, 使役の意味をもつ場合がある。

<sup>8</sup> taŋɛ は形式的には taŋɛana を原型とする動詞の接続形式と推定される。ただし, taŋɛana という動詞の活用形式と推定されるものは, この taŋɛ 以外には確認されていない。

1-9 AはBに／から愛されている。【感情述語の受身，特に動作主のマーカ―に注目】

- (9) a. raju mina-ré xoc φáy.  
 PSN PSN-ACC love get.3SG.PRS  
 「ラジュはミナを愛している」
- b. mina raju-r xoc φaná loy agé.  
 PSN PSN-GEN love get.VN take.CVB exist.3SG.PRS  
 「ミナはラジュに愛されている（直訳：ミナはラジュの愛することをとっている）」
- c. ??raju-r diney mina-r xoc φaná óy agé.  
 PSN-GEN through PSN-GEN love get.VN become.CVB exist.3SG.PRS  
 「??ラジュからミナを愛することが生じている」

「愛されている」に直訳としてもっとも近いのは(9-c)である。ただし，(9-c)のような言い方は理解可能ではあるけれども，チャクマ語としてはかなり不自然である。

1-10 AはBに／から「…」と言われた。【伝達動詞の受身，特に動作主のマーカ―に注目】

- (10) a. raju mina-ré 'na' xóyé.  
 PSN PSN-ACC no say.3SG.PRS.PRF  
 「ラジュはミナに「否」と言った」
- b. raju-r diney mina-ré 'na' xóná óye.  
 PSN-GEN through PSN-ACC no say.VN become.3SG.PRS.PRF  
 「ラジュからミナに「否」と言われた」

1-10-a AさんはBさんに呼ばれて，今Bさんの部屋に行っています。

- (11) raju-r diney mina-ré daga óy(=néy) ikké raju-r rum-ɔ-t  
 PSN-GEN through PSN-ACC call.VN become.3SG.CVB(=SEQ) now PSN-GEN room-EP-LOC  
 agé.  
 exist.3SG.PRS  
 「ラジュにミナが呼ばれて（直訳：ラジュからミナを呼ぶことが生じて），今ラジュの部屋に（ミナが）いる」

1-10-b BさんがAさんを読んで，Aさんは今Bさんの部屋に行っています。

- (12) raju mina-ré daqi(=ney) ikké raju-r rum-ɔ-t agé.  
 PSN PSN-ACC call.CVB(=SEQ) now PSN-GEN room-EP-LOC exist.3SG.PRS  
 「ラジュがミナを読んで，今（ミナは）ラジュの部屋にいる」

後文で「ラジュの部屋にいる」のは，ミナとかんがえるのが自然ではあるけれども，ラジュの可能性もある。

2. 「アスペクト」(語研論集 第 15 号)

2-1 ~さん(固有名詞)は/あの方は もう来た.

- (13) mina xɔnxalɛ<sup>9</sup> eccé.  
PSN already come.3SG.PRS.PRF  
「ミナはすでに来た」

2-2 ~さん(固有名詞)は/あの方は もう来ている.

- (14) mina xɔnxalɛ eccé.  
PSN already come.3SG.PRS.PRF  
「ミナはすでに来た」

2-3 ~さん(固有名詞)は/あの方は まだ来ていない.

- (15) mina ebó=ó nɔ-ɛje.<sup>10</sup>  
PSN still=too NEG.PRF-NEG.come.3SG.PRS.PRF  
「ミナはいまも来ていない」

2-4 ~さん(固有名詞)は/あの方は まだ来ない.

- (16) mina ebó=ó nɔ-ɛjé.  
PSN still=too NEG-come.3SG.PRS  
「ミナはいまも来ない」

2-4' ~さん(固有名詞)は/あの方は もう来ない.

- (17) mina ar nɔ-ebó.  
PSN more NEG-come.3SG.FUT  
「ミナはもう来ない」

2-5 ~さん(固有名詞)は/あの方は もう(すぐ)来る.

- (18) mina ikkíné ebó.  
PSN just.now come.3SG.FUT  
「ミナはまさに今来る」

---

<sup>9</sup> xɔnxalɛ は分析的には xɔn 'which' + xal-ɛ 'time-ADV' である。述語が現在完了形のときには、慣用的には全体で 'already' という意味で使用される。

<sup>10</sup> 通常の否定辞は低声調の nɔ- である。他方、完了形の否定辞は高声調の nɔ- となる。そして、完了形の否定辞に後続する動詞は、単独の形式としては現在形である。すなわち、「現在完了形の否定」は、形式的には「完了形の否定辞 + 現在形」である。ただし、否定の nɔ- にみられる高アクセントの影響で、形式的な現在形の部分のアクセントが変化しうる。

2-6 (あ!) ~さんが来た! 【その人が来るのに気づいた場面での発話】

- (19) a. ó! mina eccé!  
oh PSN come.3SG.PRS.PRF  
「あ，ミナが来た！」  
b. ó! mina i-yó-t!  
oh PSN this-EP-LOC  
「あ，ミナはここ！」

2-7 昨日~さんが来たよ.

- (20) mina gelle xelle eccé.  
PSN gone one.day.from.today come.3SG.PRS.PRF  
「ミナは昨日来た」

2-8 昨日~さんは来なかったよ.

- (21) mina gelle xelle nó-εje.  
PSN gone one.day.from.today NEG.PRF-NEG.come.3SG.PRS.PRF  
「ミナは昨日来なかった」

2-9 (私は) あのリンゴをもう食べた.

- (22) muy xǝnxale abél-ló xéyoŋ.  
1SG already apple-DEF eat.1SG.PRS.PRF  
「私はすでにそのリンゴを食べた」

2-10 私はあのリンゴをまだ食べていない。 / 私はあのリンゴをまだ食べない.

- (23) a. muy εbó=ó abél-ló nó-xáŋ.  
1SG still=too apple-DEF NEG.PRF-NEG.eat.1SG.PRS.PRF  
「私はいまもそのリンゴを食べていない」  
b. muy εbó=ó abél-ló nǝ-xáŋ.  
1SG still=too apple-DEF NEG-eat.1SG.PRS  
「私はいまもそのリンゴを食べない」

2-11 あの人は今(ちょうど) そのリンゴを食べています / 食べているところです.

- (24) te ikkíné abél-ló xár.  
3SG just.now apple-DEF eat.3SG.PRS.PROG  
「彼(女)はまさに今そのリンゴを食べている」

2-12 窓が開いている / 窓が開いていた.

- (25) a. janala-án xúlá age.  
window-DEF open.VN exist.3SG.PRS  
「窓は開いている」

- b. janala-án xúlá elo.  
window-DEF open.VN exist.3SG.PST  
「窓は開いていた」

2-13 私は毎朝新聞を読む／読んでいます。

- (26) a. muy φotti dín benné φebár φoróη.  
1SG every day morning newspaper read.1SG.PRS  
「私は毎日、朝に新聞を読む」  
b. muy φotti dín benné φebár φoró(η)ór.  
1SG every day morning newspaper read.1SG.PRS.PROG  
「私は毎日、朝に新聞を読んでいる」

2-14 あなたは（あなたの）お母さんに似ている。

- (27) a. tuy tɔ(r) ma(-r)<sup>11</sup> dókké.  
2SG 2SG.GEN mother(-GEN) ESS  
「あなたはあなたのお母さんのようだ」  
b. tɔré sa=té tɔ(r) ma(-r) dókké.  
2SG.ACC watch=NMLS 2SG.GEN mother(-GEN) ESS  
「あなたを見るにあなたのお母さんのようだ」

2-15 私はその頃毎日学校に通っていた。

- (28) muy sé sómóy-ó-t φotti dín ikkul-ɔ-t jeduη.  
1SG that time-EP-LOC every day school-EP-LOC go.1SG.PST.HBT  
「私はその頃毎日学校に行っていた」

2-16 私は～に（大きな街の名前など）行ったことがある。

- (29) muy dágá-t jeyóη.  
1SG Dhaka-LOC go.1SG.PRS.PRF  
「私はダッカに行った（ことがある）」

2-17 やっとバスは走り出した／走り始めた。【開始】

- (30) sémméc baác-cán sɔla súru gojjé.  
finally bus-DEF move.VN start do.3SG.PRS.PRF  
「やっとバスは動き始めた」

<sup>11</sup> (27-a)でも(27-b)でも tɔ(r) ma(-r) は目下や親しい相手には [tɔmma] のように発音される傾向がある。また、tɔ(r) や ma(-r) の r は発音されないことのほうがおおいようである。

2-18 昨日彼女はずっと寝ていた。【長時間継続】

- (31) a. *tɛ gɛllɛ xelle sárádin-no gúm jeyé.*  
 3SG gone one.day.from.today whole.day-DEF sleep(n) go.3SG.PRS.PRF  
 「彼（女）は昨日一日中寝た」
- b. *tɛ gɛllɛ xelle sárádin-no gúm-ó-t ɛló.*  
 3SG gone one.day.from.today whole.day-DEF sleep(n)-EP-LOC exist.3SG.PST  
 「彼（女）は昨日一日中眠りにいた」

2-19 私はそれをちょっと食べてみた。【試行】

- (32) *muy i-yán ɛkka xéy seluɲ.*  
 1SG this-DEF a.little eat.CVB see.1SG.PST  
 「私はこれをすこし食べてみた」

2-20 あの人はそれ（ら）をみんなに分け与えた。【多くの（間接）目的語に対する多回のアスペクト】

- (33) a. *tɛ ɸotti jɔn-ɔ-ré ú-wani diyé.*  
 3SG each person-EP-ACC that-PL give.3SG.PRS.PRF  
 「彼（女）は各人にそれらを与えた」
- b. *tɛ bɛk-kún-ó-ré ú-wani diyé.*  
 3SG all-PL-EP-ACC that-PL give.3SG.PRS.PRF  
 「彼（女）はみんなにそれらを与えた」

2-21 さあ、（私たちは）行くよ！

- (34) a. *sále, jey.*  
 INTJ go.1PL.PRS  
 「さあ，行こう」
- b. *jey, sále.*  
 go.1PL.PRS INTJ  
 「行こう，さあ」

2-22 地球は太陽の周りを回っている。【恒常的な真理】

- (35) *ɸittimí bɛl-án-ó-r ser-ɔ(-r) xitte gúré.*  
 earth sun-DEF-EP-GEN four-EP(-GEN) direction go.around.3SG.PRS  
 「地球は太陽の四方をまわる」

2-23 あの木は今にも倒れそうだ。【将然相】

- (36) a. *gac-có bɛc bák éléy ɸɔrɛr.*  
 tree-DEF very part fall.CVB fall.3SG.PRS.PROG  
 「その木はほとんど倒れおちている」

- b. gac-có bæc bák éley φορωη-φορωη<sup>12</sup> gorí agé.  
 tree-DEF very part fall.CVB falling-falling do.CVB exist.3SG.PRS  
 「その木はほとんど倒れおちつつある」

2-24 (私は) あやうく転ぶところだった。【未実現の事態】

- (37) a. muy éley φορ=te φορ=te nó-φόρωη.  
 1SG fall.CVB fall=NMLS fall=NMLS NEG.PRF-NEG.fall.1SG.PRS.PRF  
 「私は倒れそうになりつつも倒れなかった」  
 b. muy bæc bák éley φορωη-φορωη gorí elúy.  
 1SG very part fall.CVB falling-falling do.CVB exist.1SG.PST  
 「私はほとんど倒れおちつつあった」

2-25 明日客が来るので、パンを買っておく。【準備】

- (38) ejétté xelle gοrba ebák, sénéddey nan xini raqém.  
 coming one.day.from.today guest come.3PL.FUT so bread buy.CVB put.1SG.FUT  
 「明日客が来る。だからパンを買っておく」

2-26 (私は) ～に (街とか市場とか) 行ったとき, この袋を買った。

- (39) bajar-ο-t jeyóy=ηέ=løkke e tóllé-bo xinn(y)óy.  
 market-EP-LOC go.1SG.PRS.PRF=NMLS=time this bag-DEF buy.1SG.PRS.PRF  
 「市場に行った時にこの鞆を買った」

2-27 (私は) ～に (街とか市場とか) 行く時/行く前に, この袋を買った。

- (40) a. bajar-ο-t je=bar=tey e tóllé-bo xinn(y)óy.  
 market-EP-LOC go.CVB=NMLS.GEN=PURP this bag-DEF buy.1SG.PRS.PRF  
 「市場に行くためにこの鞆を買った」  
 b. bajar-ο-t ja(η)ór=té=løkke e tóllé-bo xinn(y)óy.  
 market-EP-LOC go.1SG.PRS.PROG=NMLS=time this bag-DEF buy.1SG.PRS.PRF  
 「市場に行きつつある時にこの鞆を買った」  
 c. bajar-ο-t je=bar age e tóllé-bo xinn(y)óy.  
 market-EP-LOC go.CVB=NMLS.GEN before this bag-DEF buy.1SG.PRS.PRF  
 「市場に行く前にこの鞆を買った」  
 d. bajar-ο-t nó-je=bar age e tóllé-bo xinn(y)óy.  
 market-EP-LOC NEG-go.CVB=NMLS.GEN before this bag-DEF buy.1SG.PRS.PRF  
 「市場に行かないうちにこの鞆を買った」

<sup>12</sup> φορωη-φορωη は形式的には ‘1SG.PRS-1SG.PRS’ である。しかし, ここでは一人称の意味も現在形の意味もない。gorí agé ‘do.CVB exist.3SG.PRS’ とともに使用されて, 「まさに～しつつある」という意味をあらわす。

2-28 (私は) 彼が市場でこの袋を買ったのを知っていた.

- (41) a. *muy janiduj te bajar-ɔ-t e tóllé-bo xinné.*  
 1SG know.1SG.PST.HBT 3SG market-EP-LOC this bag-DEF buy.3SG.PRS.PRF  
 「彼が市場でこの袋を買ったということを私は知っていた」
- b. *muy janiduj te bajar-ɔ-ttún e tóllé-bo xinné.*  
 1SG know.1SG.PST.HBT 3SG market-EP-ABL this bag-DEF buy.3SG.PRS.PRF  
 「彼が市場からこの袋を買ったということを私は知っていた」

「市場で」の表現は，日本語に即しているならば(41-a)となる．しかし，チャクマ語としては(41-b)のようにいう方が普通である．

3. 「モダリティ」(語研論集 第 16 号)

3-1 (その仕事が終わったら) もう帰ってもいいですよ. 【許可】

- (42) (*xam-án séc ɔ-lɛ jey=ó φarɔc.*)  
 (work-DEF finish(n) become-COND) go.CVB=too can.2SG.PRS  
 「(その仕事が終わったら) 行ってもいいです」

3-2 (腐っているから, あなたは) それを食べてはいけない/それを食べるな. 【禁止】

- (43) a. (*i-yán bac óye, sénóttey) nɔ-xéc!*  
 (this-DEF smell(n) become.3SG.PRS.PRF for.that) NEG-eat.2SG.FUT.IMP  
 「(それは臭ったから) 食べないでください」
- b. (*i-yán bac óye, sénóttey) xána nijét!*  
 (this-DEF smell(n) become.3SG.PRS.PRF for.that) eat.VN prohibition  
 「(それは臭ったから) 食べるのは禁止だ」

3-3 (遅くなったので) 私たちはもう帰らなければならない. 【義務】

- (44) (*deri óy jar.) amáttún ikkíné gór-ɔ-t ja φoribo.*  
 (late become.CVB go.3SG.PRS.PROG) 1PL.ABL now house-EP-LOC go fall.3SG.FUT  
 「(遅くなっている) 私たちは今すぐ家に行かなければならない」

3-4 (雨が降るそうだから) 傘を持って出かけたほうがいいよ. 【推奨】

- (45) a. (*jór ejér bɛlɛ.)<sup>13</sup> sádí loná ujit.*  
 (rain come.3SG.PRS.PROG EV) umbrella take.VN appropriate  
 「(雨が来ているらしい) 傘を持っていくのが適当だ」
- b. (*jór ejér bɛlɛ.) sádí lɔ-lé gɔm óbó.<sup>14</sup>*  
 (rain come.3SG.PRS.PROG EV) umbrella take-COND good become.3SG.FUT  
 「(雨が来ているらしい) 傘を持っていけばよい」

<sup>13</sup> *bɛlɛ* ‘EV’ は自分以外の誰かや何かを根拠とするばあいにもちいられる証拠性標識である．

<sup>14</sup> 本稿の話者である S さんの出身地であるロッキチヨリ地方では**óbó**である一方，チャクマ人の中心地のひとつであるカグラチヨリ地方では**óbó**であるという．

3-5 歳をとったら、子供の言うことを聞くべきだ／聞くものだ。【評価的義務】

- (46) jekké tuy buró óbé sékke tor φúo-r xodá suná ujit.  
 time.when 2SG old become.2SG.FUT then 2SG.GEN child-GEN word listen.VN appropriate  
 「あなたが老いるとき、そのときはあなたの子供たちの話をきくのが適当だ」

3-6 お腹が空いたので、(私は)何か食べたい。【希望】

- (47) mər φet φurɛr. sénéttey xijú xé=bár saŋ.  
 1SG.GEN stomach burn.3SG.PRS.PROG thus some eat.CVB=NMLS.GEN want.1SG.PRS  
 「私は空腹だ。だから(私は)何か食べたい」

3-7 私が持ちましょう。【意志】

- (48) muy lom.  
 I take.1SG.FUT  
 「私が持ちます」

3-8 じゃあ、一緒に昼ご飯を食べましょう。【勧誘】

- (49) sále, ɛk=sómáré dibijjé(-r) xána xéy.  
 INTJ one=together noon(-GEN) food eat.1PL.PRS  
 「さあ(動け)一緒に昼のご飯を食べよう」

3-9 一緒に昼ご飯を食べませんか？【相手の意向が不明な場合の勧誘】

- (50) a. amí xi ɛk=sómáré dibijjé(-r) xána xébóŋ(=ná=xi<sup>15</sup>)?  
 1.PL PQ one=together noon(-GEN) food eat.1PL.FUT(=not=PQ)  
 「私たちは一緒に昼のご飯を食べますか(食べませんか)」  
 b. tuy ɛk=sómáré dibijjé(-r) xána xé=bár sác(=ná=xi)?  
 2SG one=together noon(-GEN) food eat.CVB=NMLS.GEN want.2SG.PRS(=not=PQ)  
 「あなたは一緒に昼のご飯を食べたいですか(食べたくないですか)」

3-10 明日、良い天気になるといいなあ。／明日は良い天気になってほしいなあ。【希望】

- (51) muy ajá gəróŋ ejétté xelle dəba-bó gəm goríbo.  
 1SG wish do.1SG.PRS coming one.day.from.today sky-DEF good do.3SG.FUT  
 「私が希望するのは、明日空が良いことです」

3-11 (私はここで待っているから)すぐにそれを持って来なさい。【命令】

- (52) a. (muy i-yó-t baccé(y) tém.) sóbóre i-yán an-doy.  
 (1SG this-EP-LOC wait.CVB stay.1SG.fut) rapidly this-DEF take.PRS.IMP-ANDV  
 「(私はここで待つ)はやくそれをとってきなさい」

<sup>15</sup> =ná=xi 'not=PQ' はベンガル語からの借用形式である。また、しばしば縮約して=niと発音される。

- b. (muy i-yó-t baccé(y) tém.) sóbóré i-yán an.  
 (1SG this-EP-LOC wait.CVB stay.1SG.fut) rapidly this-DEF take.PRS.IMP  
 「(私はここで待つ) はやくそれをとりなさい」

3-12 そのペンをちょっと貸していただけませんか？【懇願】

- (53) da,<sup>16</sup> (tuy xi) mərə sé xələm-mó ekka udór diy φaribε=ná=xi?  
 brother (2SG PQ) 1SG.ACC that pen-DEF a.little loan give.CVB can.2SG.FUT=not=PQ  
 「お兄さん，(あなたは) 私にそのペンをちょっと貸すことができますか」

3-13 あの人は中国語が読めます。／あの人は中国語を読むことができます。【能力可能】

- (54) a. tε sine bája φorí janε.  
 3SG Chinese language read.CVB know.3SG.PRS  
 「その人は中国語を読むことをしています」  
 b. tε sine bája φorí φarε.  
 3SG Chinese language read.CVB can.3SG.PRS  
 「その方は中国語を読むことができます」

能力可能であることを明確にいうときには(54-a)をつかう。(54-b)のほうが一般的な言い方ではあるけれども，能力可能と状況可能の両方の解釈がありうる。

3-14 明かりが暗くて，ここに何が書いてあるのか，読めない。【状況可能】

- (55) andár bec, sénéttey i-yó-t xi ləgá agé muy φorí  
 darkness very.much thus this-EP-LOC what write.VN exist.3SG.PRS 1SG read.CVB  
 nɔ-φarɔ(η)ór.  
 NEG-can.1SG.PRS.PROG  
 「とても暗い，だからここに何が書いてあるか私は読むことができない」

3-15 (朝早く出発したから) 彼らはもう着いているはずだ／もう着いたに違いない。【確信】

- (56) a. (tará φocté ádá diyón. sénéttey) ékkɔnε xámákkay  
 (3PL dawn walking give.3PL.PRS.PRF thus) this.time certainly  
 lúmmon-doy.  
 arrive.3PL.PRS.PRF-ANDV  
 「(彼らは早朝に出発したから) 今ごろはもちろん行ってたどり着いた」  
 b. (tará φocté ádá diyón. sénéttey) ékkɔnε xámákkay lúmana-r xodá.  
 (3PL dawn walking give.3PL.PRS.PRF thus) this.time certainly arrive.VN-GEN story  
 「(彼らはとても早朝に出発したから) 今ごろはもちろん到着するはずだ」

<sup>16</sup> 丁寧な言い方では文頭に「お兄さん」などの呼称をいったほうがよい。

- c. (tará φocté ádá diyón. sénéttey) ékkone xámákkay lúmana ujit.  
 (3PL dawn walking give.3PL.PRS.PRF thus) this.time certainly arrive.VN appropriate  
 「(彼らはとても早朝に出発したから) 今ごろはもちろん到着するのがふさわしい」
- d. (tará φocté ádá diyón. sénéttey) ékkone xámákkay lúmana dɔrxar.  
 (3PL dawn walking give.3PL.PRS.PRF thus) this.time certainly arrive.VN necessary  
 「(彼らはとても早朝に出発したから) 今ごろはもちろん到着する必要がある」

3-16 (あの人は) 明日はたぶん来ないだろう。【推量】

- (57) (tɛ) ejétté xelle mɔn-ɛ óy<sup>17</sup> nɔ-ebó.  
 (3SG) coming one.day.from.today heart-LOC happen.3SG.PRS NEG-come.3SG.FUT  
 「(その人は) 明日おそらく来ない」

3-17 彼らはまだ来ないなんて、きっと途中で車が壊れたんじゃないか。【疑念】

- (58) tará ebó=ó nó-ɛjɔn. φɔt-ɔ(-r) ɔddék-ó-t mɔne  
 3PL now=too NEG.PRF-NEG.come.3PL.PRS.PRF road-EP(-GEN) half-EP-LOC heart.LOC  
 óy garí-yán xaráp óye.  
 happen.3SG.PRS car-DEF bad become.3SG.PRS.PRF  
 「彼らはまだ来ていない。道半ばで、車が悪くなってしまったかもしれない」

3-18 (昼間だからあの人は家に) さあ、いるかもしれないし、いないかもしれない。【可能性】

- (59) (ikké dibíjjé sénóttey tɛ gór-ó-t) té(y) φare nɔ-ó té(y) φare.  
 (now noon so 3SG house-EP-LOC) stay.CVB can.3SG.PRS not-too stay.CVB can.3SG.PRS  
 「(今は昼、だからその人は家に) いるかもしれないし、いないかもしれない」

3-19 (額に触ってみて) どうもあなたは熱があるようだ。【視覚／聴覚以外の感覚による判断】

- (60) (xɔbal-ɔ-t át di=ney) mɔne ór=té tɔr  
 (forehead-EP-LOC hand give.CVB=SEQ) heart.LOC become.3SG.PRS.PROG=NMLS 2SG.GEN  
 jɔr agé.  
 fever exist.3SG.PRS  
 「(額に手をおいて) おもうに (直訳: 心に生じるには) あなたには熱がある」

3-20 (天気予報によれば) 明日は雨が降るそうだ。【伝聞】

- (61) (age~bágé xóbór-ó dógé) xelle jɔr ebó=té beɛɛ.  
 (before~ELAB news-GEN according.to) one.day.from.today rain come.3SG.FUT=NMLS EV  
 「(予報によれば) 明日雨が降るらしい」

<sup>17</sup> mɔn-ɛ óy 'heart-LOC happen.3SG.PRS' は「心において生じる」というのが直訳であるけれども、「(私が) おもうに」あるいは「おそらく」といった意味である。そして、チャクマ語で (のみならずベンガル語でも) 多用される。なお, mɔn-ɛ 'heart-LOC' は, ベンガル語の mɔn-e 'heart-LOC' をなぞった表現である。

3-21 もしお金があったら，あの車を買うんだけれどなあ。【反実仮想】

- (62) a. *te(ŋ)a tédó (muy) o garí-yán xiniduŋ.*  
 money stay.3SG.PST.HBT (1SG) that car-DEF buy.1SG.PST.HBT  
 「お金があれば，(私は)あの車を買うのに」
- b. *te(ŋ)a tédó (muy) o garí-yán xinilu(g)ún.<sup>18</sup>*  
 money stay.3SG.PST.HBT (1SG) that car-DEF buy.1SG.PST.HBT.COND  
 「お金があれば，(私は)あの車を買ったのに」

3-22 もしあなたが教えてくれていなかったら，私はそこにたどり着けなかったでしょう。【反実仮想過去】

- (63) *jodi tuy mərə́ nɔ̄-janədə, muy sídu lúmi*  
 if 2SG 1SG.ACC NEG-know.CAUS.2SG.PST.HBT 1SG there arrive.CVB  
*nɔ̄-ɸarilu(g)ún.*  
 NEG-can.1SG.PST.HBT.COND  
 「もしもあなたが私に知らせなかったら，私はそこに到着できなかった」

3-23 (あの人は) 街へ行きたがっている。【3人称の主体による希望】

- (64) a. *(te/tattún) sóor-ɔ̄-t jədɔ́ magér.*  
 (3SG/3SG.ABL) city-EP-LOC go.3SG.PST.HBT want.3SG.PRS.PROG  
 「(その人は) 街に行きたがっている」
- b. *(te/\*tattún) sóor-ɔ̄-t jədɔ́<sup>19</sup> sár.*  
 (3SG/\*3SG.ABL) city-EP-LOC go.3SG.PST.HBT want.3SG.PRS.PROG  
 「(その人は) 街に行きたがっている」

(64-a) と(64-b) を比較すると，(64-b) のほうが「行きたい」という気持ちが強いようである。

3-24 僕にもそれを少し飲ませろ。【1人称命令】

- (65) a. *mərə́=ó i-yán ekka xé=bár de.*  
 1SG.ACC=too this-DEF some eat.CVB=NMLS.GEN give.2SG.PRS.IMP  
 「私にもそれをちょっと食べさせろ」
- b. *mərə́=ó i-yán ekka xábá.<sup>20</sup>*  
 1SG.ACC=too this-DEF some eat.CAUS.2SG.PRS.IMP  
 「私にもそれをちょっと食べさせろ」

<sup>18</sup> *xinilu(g)ún* ‘buy.1SG.PST.HBT.COND’ は反実仮想のときにしかもちられない特別な活用形式であるようである。

<sup>19</sup> 「～したい」という表現をするときには，動詞の習慣過去形に *saná* ‘want.VN’ の活用形式を付加する。三人称では *magé* ‘want.3SG.PRS’ およびその活用形式を付加する。

<sup>20</sup> チャクマ語では「食べる」と「飲む」を区別しない。

3-25 これはあの人に持って行かせろ／持って行かせよう。【3人称命令】

- (66) a. jey, taré i-yán aní=bár de.  
 go.1PL.PRS 3SG.ACC this-DEF bring.CVB=NMLS.GEN give.2SG.PRS.IMP  
 「行こう、彼にそれを運ぶようにさせろ」
- b. tɛ i-yán anók.  
 3SG this-DEF bring.3SG.OPT  
 「彼がそれを持っていくように」

3-26 そのテーブルの上のお菓子は後で食べなさい。【遠未来命令形】

- (67) sé tebíł-ó-r {u(g)urɛ/u(g)ur-ɔ-r} midé-yani φɔrɛ xéc.  
 that table-EP-GEN {place.above.LOC/place.above-EP-GEN} sweet-PL after eat.2SG.FUT.IMP  
 「そのテーブルの上のお菓子は後で食べてください」

3-27 もっと早く来ればよかった。【反実仮想】

- (68) aró agɛ ɛ-lé gɔm ódó.  
 more before come-COND good become.3SG.PST.HBT  
 「もっとはやく来ればよかった」

3-28 あなたも一緒に行ったら（どうですか）？【脱従属化】

- (69) tuy=ó ɛk=sómáré jɛ-lé (xeján)?  
 2SG.=too one=together go-COND (how)  
 「あなたも一緒に行けば（どう）」

3-29 オレがそんなこと知るか！【(疑問詞を含まない) 反語】

- (70) muy xi<sup>21</sup> janim?  
 1SG PQ know.1SG.FUT  
 「私が知るだろうか」

3-30 これを作った（料理した）のは、お母さんだよな？／いいえ、私が作ったのよ。【付加疑問】

- (71) a. tɔr ma<sup>22</sup> i-yán ranné=ɬé, nóné?  
 2SG.GEN mother this-DEF cook.3SG.PRS.PRF=NMLS SFP  
 「あなたのお母さんがこれを料理したんだ、でしょ？」

<sup>21</sup> xi には二つの意味がありうる。一つは疑問語として「何」という意味である。そのように解釈するばあいには、xi に高平調のイントネーションがかぶさり、全体としては「私が何を知るだろうか」という意味になる。もう一つは諸否疑問文の標識としての日本語の「か」に類似した意味である。そのように解釈するばあいには、xi には低平調のイントネーションがかぶさる。

<sup>22</sup> tɔr ma ‘2SG.GEN mother’ は実際には [tɔmma] のように発音される。

- b. {ĩ<sup>23</sup> /na}, muy rannóη=ηέ.  
 {no/no} 1SG cook.1SG.PRS.PRF=NMLS  
 「いいえ，私がしたんです」

- (72) a. tɔr ma i-yán ranné=ťé na xi?  
 2SG.GEN mother this-DEF cook.3SG.PRS.PRF=NMLS not PQ  
 「あなたのお母さんがこれを料理したんだ，じゃない？」  
 b. ĩ́, muy rannóη=ηέ.  
 no 1SG cook.1SG.PRS.PRF=NMLS  
 「いいえ，私がしたんです」

#### 4. 「ヴォイス」（語研論集 第 17 号）

##### 4-1-a （風などで）ドアが開いた。【自動詞と他動詞の対立・自動詞による表現】

- (73) a. (boyer-ε) duor xúlá jeyé.  
 (wind-ADV) door open.VN go.3SG.PRS.PRF  
 「(風で) ドアが開いていった」  
 b. duor xúlá óye.  
 door open.VN become.3SG.PRS.PRF  
 「ドアが開けられた (直訳: 開く状態になった)」

ドアが開いた原因が，(73-a) では，人や動物のせいというよりは自然のせいである傾向にあるという。他方，(73-b) では人あるいは動物のせいであることが明白であるという。

##### 4-1-b （彼が）ドアを開けた。【自動詞と他動詞の対立・他動詞による表現】

- (74) (te) duor xúlle.  
 (3SG) door open.3SG.PRS.PRF  
 「(彼が) ドアを開いた」

##### 4-1-c （入り口の）ドアが開けられた。【自動詞と他動詞の対立・他動詞の受け身】

- (75) (sómáná-r) duor xúlá óye.  
 (enter.VN-GEN) door open.VN become.3SG.PRS.PRF  
 「(入り口の) ドアが開けられた (直訳: ドアが開く状態になった)」

##### 4-1-d ドアが壊れた。【自動詞と他動詞の対立】

- (76) duor bájí jeyé.  
 door break.CVB go.3SG.PRS.PRF  
 「ドアが壊れた (直訳: 壊れていった)」

<sup>23</sup> ĩ́は，親しい間柄が相手ならば男女問わず，普通の間柄ならば本人が女性のばあいに使用する傾向がある。普通の間柄で男女問わず使用できるのは na である。

4-2 私は（自分の）弟を立たせた。【自動詞の使役】

- (77) *muy məɾ siyon béy-bo-rɛ dar goréyóŋ.*  
 1SG 1SG.GEN small brother-DEF-ACC standing do.CAUS.1SG.PRS.PRF  
 「私は私の弟に立つことをさせた」

4-3 私は（自分の）弟に歌を歌わせた。【他動詞の使役】

- (78) *muy məɾ siyon béy-bo-rɛ gan ge=bar=tɛy xóyóŋ.*  
 1SG 1SG.GEN small brother-DEF-ACC song sing.CVB=NMLS.GEN=PURP say.1SG.PRS.PRF  
 「私は私の弟に歌を歌うように言った」

4-4-a（遊びたがっている子供に無理やり）母は子供にパンを買いに行かせた。【強制使役】

- (79) a. *(tar) ma nij-ɔ(-r) φuo-bó-ré bɔn xini=bar=tɛy (jur*  
 (3SG.GEN) mother self-EP(-GEN) son-DEF-ACC bread buy.CVB=NMLS.GEN=PURP (force  
*gorí) φadéyé.*  
 do.CVB) send.3SG.PRS.PRF  
 「母は自分の子供にパンを買うように（強制的に）送り出した」
- b. *(tar) ma nij-ɔ(-r) φuo-bó-ré bɔn xini=bar=tɛy jur*  
 (3SG.GEN) mother self-EP(-GEN) son-DEF-ACC bread buy.CVB=NMLS.GEN=PURP force  
*gojjé.*  
 do.3SG.PRS.PRF  
 「母は自分の子供にパンを買うように強制した」

4-4-b（遊びに行きたがっているのを見て）母は子供に遊びに行かせた。【許可使役】

- (80) *ma nijɔ(r) φuo-bó-ré hárá ó=bár=téy je=bar*  
 mother self.GEN son-DEF-ACC play(n) become=NMLS.GEN=PURP go.CVB=NMLS.GEN  
*diyé.*  
 give.3SG.PRS.PRF  
 「母は彼女の子供を遊ぶために行くようにしてあげた」

4-5-a 私は弟に服を着せた。【他動詞による表現】

- (81) a. *muy mə(r) siyon béy-bo-rɛ sílúm uré diyóŋ.*  
 1SG 1SG.GEN small brother-DEF-ACC shirt wear.CAUS.CVB give.1SG.PRS.PRF  
 「私は私の弟にシャツを着せてあげた」
- b. *muy (nijɛ) mə(r) siyon béy-bo-rɛ sílúm uréyóŋ.*  
 1SG (self) 1SG.GEN small brother-DEF-ACC shirt wear.CAUS.1SG.PRS.PRF  
 「私は自分で私のシャツに服を着せた」

(81-a) は「私の手で弟にシャツを着せた」という解釈しかない。(81-b) は, *nijɛ* ‘self’ をいれなければ, 「私が自分の手で弟にシャツを着せた」という解釈と「私が弟に命令して弟が弟自身の手でシャツを着た」という解釈の二つがありうる。*nijɛ* ‘self’ を *muy* ‘1SG’ の直後にいれると, 「私が自分の

手で弟にシャツを着せた」という解釈しかなくなる。

4-5-b 私は弟にその服を着させた。【自動詞の使役】

- (82) muy mɔ(r) siyon béy-bo-re di=ney sílúm uréyón.  
 1SG 1SG.GEN small brother-DEF-ACC give.CVB=SEQ shirt wear.CAUS.1.sg.PRS.PRF  
 「私は私の弟をしてシャツを着させた」

(82)の文には「私が弟に命令して、弟が弟自身の手がシャツを着るようにした」という解釈と「私が弟に命令して、弟が他の人に弟自身の手でシャツを着せた」という解釈の二つがありうる。

4-6 私は弟にその本をあげた。【やりもらい，（話者から見ての）授恩恵と受恩恵の違い】

- (83) muy mɔ(r) siyon béy-bo-re boóy-bó diyón.  
 1SG 1SG.GEN small brother-DEF-ACC book-DEF give.1SG.PRS.PRF  
 「私は私の弟にその本をあげた」

4-7-a 私は弟に本を読んであげた。【やりもらい，（話者から見ての）授恩恵と受恩恵の違い】

- (84) muy mɔ(r) siyon béy-bo-re boóy-bó φorí diyón.  
 1SG 1SG.GEN small brother-DEF-ACC book-DEF read.CVB give.1SG.PRS.PRF  
 「私は私の弟に本を読んであげた」

4-7-b 兄は私に本を読んでくれた。【やりもらい，（話者から見ての）授恩恵と受恩恵の違い】

- (85) mɔ(r) bɔr béy-é mɔré boóy-bó φorí diyé.  
 1SG.GEN big brother-AGT 1SG.ACC book-DEF read.CVB give.3SG.PRS.PRF  
 「私の兄は私に本を読んでくれた」

4-7-c 私は母に髪を切ってもらった。【テモラウ】

- (86) a. muy mɔ(r) ma-ré di=ney mɔ(r) sul xappón.  
 1SG 1SG.GEN mother-ACC give.CVB=SEQ 1SG.GEN hair cut.1SG.PRS.PRF  
 「私は私の母を使って私の髪を切った」  
 b. muy mɔ(r) ma-ré di=ney mɔ(r) sul xabeyón.  
 1SG 1SG.GEN mother-ACC give.CVB=SEQ 1SG.GEN hair cut.CAUS.1SG.PRS.PRF  
 「私は私の母に私の髪を切らせた」

4-8-a 私は（自分の）体を洗った。【再帰】

- (87) muy (mɔ(r)/nij-ɔ(-r)) xeye-án dóyon.  
 1SG (1SG.GEN/self-EP(-GEN)) body-DEF wash.1SG.PRS.PRF  
 「私は（私の/自分の）体を洗った」

4-8-b 私は手を洗った。【再帰】

- (88) muy (mɔ(r)/nij-ɔ(-r)) át-tan dóyon.  
 1SG (1SG.GEN/self-EP(-GEN)) hand-DEF wash.1SG.PRS.PRF  
 「私は（私の/自分の）手を洗った」

4-8-c 彼は手を洗った。【再帰】

- (89) te (nij-ɔ(-r)) át-tan dóye.  
 3SG (self-EP(-GEN)) hand wash.3SG.PRS.PRF  
 「彼は（自分の）手を洗った」

4-9 （自分のために）私はその本を買った。【自利態】

- (90) muy (nij-ɔ-r=dey) boóy-bó xinn(y)óŋ.  
 1SG (self-EP-GEN=PURP) book-DEF buy.1SG.PRS.PRF  
 「私は（自分のために）その本を買った」

4-10 彼らは（／その人たちは）（互いに）殴り合っていた。【相互】

- (91) tará (te-taré) maramari gojjón.  
 3PL (3SG-3PL.ACC) fighting do.3PL.PRS.PRF<sup>24</sup>  
 「彼らは（お互いに）殴り合った」

4-11 その人たちは（みんな一緒に）街へ行った。【衆動】

- (92) tará (bək-kún-é ek=sómáré) sóɔr-ɔ-t jeyón.  
 3PL (all-PL-AGT one=together) city-EP-LOC go.3PL.PRS.PRF  
 「彼らは（みんな一緒に）街へ行った」

4-12 その映画は泣ける（その映画を見ると泣いてしまう）。【自発】

- (93) a. sóbi-bo toré xanay.  
 picture-DEF 2SG.ACC cry.CAUS.3SG.PRS  
 「その映画はあなたを泣かせる」  
 b. sóbi-bo degí-lé {hana/soɔ-ó+ɸanı} ejé.  
 picture-DEF see.CV-B-COND {cry.VN/eye-EP+water} become.3SG.PRS  
 「その映画を見ると泣くようになる（直訳：{泣き/涙}が来る）」

4-13-a 私は卵を割った。【意志／無意志】

- (94) muy bɔda-bó báŋŋɔŋ.  
 1SG egg-DEF break.1SG.PRS.PRF  
 「私は卵を割った」

4-13-b （うっかり落として）私はコップを割った／割ってしまった。【意志／無意志】

- (95) muy (búl gori) ɔlɔc-có báŋŋɔŋ.  
 1SG (mistake do.CV-B) glass-DEF break.1SG.PRS.PRF  
 「私は（まちがって）そのグラスを壊した」

<sup>24</sup> チャクマ語には過去進行形にあたる動詞の活用形式がない。そこで、現在完了形で表現している。

4-14-a きのお私はコーヒーを飲みすぎて（飲みすぎたので）眠れなかった。【随意の不可能と不随意の不可能】

- (96) a. gelle xelle                      muy xobí    bec              xé=néy              gúm jey  
 gone one.day.from.today 1SG coffee too.much eat.CVB=SEQ sleep go.CVB  
 nó-φάρóη.  
 NEG.PRF-NEG.can.1SG.PRS.PRF  
 「昨日私はコーヒーをあまりにたくさん飲んで眠れなかった」
- b. gelle xelle                      muy xobí    bec              xéyoη              xe=néy<sup>25</sup>              gúm  
 gone one.day.from.today 1SG coffee too.much eat.1SG.PRS.PRF say.CVB(?)=SEQ sleep  
 jey      nó-φάρóη.  
 go.CVB NEG.PRF-NEG.can.1SG.PRS.PRF  
 「昨日私はコーヒーをあまりにたくさん飲んだというので眠れなかった」
- c. gelle xelle                      muy xobí    bec              xáná    xarón-ε              gúm jey  
 gone one.day.from.today 1SG coffee too.much eat.VN reason-ADV sleep go.CVB  
 nó-φάρóη.  
 NEG.PRF-NEG.can.1SG.PRS.PRF  
 「昨日私はコーヒーをあまりにたくさん飲んだので眠れなかった」

4-14-b きのお私は仕事がたくさんあって（たくさんあったので）眠れなかった。【随意の不可能と不随意の不可能】

- (97) a. gelle xelle                      mɔ(r)    bec              xam    eló                      xe=néy              gúm  
 gone one.day.from.today 1SG.GEN too.much work exist.3SG.PST say.CVB(?)=SEQ sleep  
 jey      nó-φάρóη  
 go.CVB NEG.PRF-NEG.can.1SG.PRS.PRF  
 「昨日私のたくさんのお仕事があつて眠れなかった」
- b. gelle xelle                      mɔ(r)    bec              xam    eló.                      sénóddey              gúm  
 gone one.day.from.today 1SG.GEN too.much work exist.3SG.PST for.this.reason sleep  
 jey      nó-φάρóη  
 go.CVB NEG.PRF-NEG.can.1SG.PRS.PRF  
 「昨日私のたくさんのお仕事があつた。そのせいで眠れなかった」

4-15 私は頭が痛い。【全体と部分・主体・一時的】

- (98) mɔ(r)      madá φire gɔré.  
 1SG.GEN head pain do.3SG.PRS  
 「私の頭は痛む」

<sup>25</sup> xe=néy は形式的には xana を原型とする動詞の接続形式に継起の標識がついたものであると推定される。ただし、そのような動詞は確認されていない。そして xe=néy の意味は「～とって」というものであると推定される。

4-16 彼女は髪が長い。【全体と部分・主体・恒常的】

- (99) ta(r) sul lamba.  
 3SG.GEN hair long  
 「彼(女)の髪は長い」

4-17-a 彼は(別の)彼の肩をたたいた。【全体と部分・対象・接触／結果状態が継続的】

- (100) a. tɛ ta(r) bará-t sabɔr diló.  
 3SG 3SG.GEN shoulder-LOC tap give.3SG.PST  
 「彼(女)は彼(女)の肩に軽いたたきをあたえた」  
 b. tɛ omn(y)o(-r) bará-t sabɔr diló.  
 3SG other(-GEN) shoulder-LOC tap give.3SG.PST  
 「彼(女)は他人の肩に軽いたたきをあたえた」

(100-a) のようにいうと、自分の肩とも他人の肩とも解釈されうる。他人の肩であることを明示的にいうなら、(100-b) のようになる。

4-17-b 彼は(別の)彼の腕をつかんだ。【全体と部分・対象・接触／結果状態が継続的】

- (101) a. tɛ ta(r) át-tan(-ɔ-t) dójje.  
 3SG 3SG.GEN arm-DEF(-EP-LOC) hold.3SG.PRS.PRF  
 「彼(女)は彼(女)の腕をつかんだ」  
 b. tɛ omn(y)o(-r) át-tan(-ɔ-t) dójje.  
 3SG other-GEN arm-DEF(-EP-LOC) hold.3SG.PRS.PRF  
 「彼(女)は他人の腕をつかんだ」

(101-a) のようにいうと、自分の腕とも他人の腕とも解釈されうる。他人の腕であることを明示的にいうなら、(101-b) のようになる。

4-18-a 私は彼がやって来るのを見た。【知覚構文】

- (102) muy taré ɛs=té dekkónj.  
 1SG 3SG.ACC come=NMLS see.1SG.PRS.PRF  
 「私は彼が来るのを見た」

4-18-b 私は彼が今日来ることを知っている。【知覚構文】

- (103) muy janɔŋ=ŋɛ tɛ ecce ebó.  
 1SG know.1SG.PRS=NMLS 3SG today come.3SG.FUT  
 「私が知っているのは、彼が今日来るということだ」

4-19 彼は自分（のほう）が勝つと思った。【引用文中の再帰】

- (104) te báppe=te te nijé=i<sup>26</sup> jidibo.  
 3SG think.3SG.PRS.PRF=NMLS 3SG self=EMPF win.3SG.FUT  
 「彼が思ったのは、彼自身こそが勝つだろうということだ」

4-20-a 私は（コップの）水（の一部）を飲んだ。【部分的に及ぶ動作と全体に及ぶ動作】

- (105) muy gólɔç-ó(-r) φaní(-yán) xéyoŋ.  
 1SG glass-EP(-GEN) water(-DEF) eat.1SG.PRS.PRF  
 「私はグラスの水を飲んだ」

4-20-b 私は（コップの）水を全部飲んだ。【部分的に及ぶ動作と全体に及ぶ動作】

- (106) a. muy gólɔç-ó(-r) φaní-yán bek-kán xéyoŋ.  
 1SG glass-EP(-GEN) water-DEF all-DEF eat.1SG.PRS.PRF  
 「私はグラスの水を全部飲んだ」  
 b. muy gólɔç-ó(-r) bek φaní-yán xéyoŋ.  
 1SG glass-EP(-GEN) all water-DEF eat.1SG.PRS.PRF  
 「私はグラスの水を全部飲んだ」

*φaní bek-kán* ‘water all-DEF’ や *bek-kán φaní(-yán)* ‘all-DEF water(-DEF)’ は不可であるという。

4-21 彼は肉を食べない。【恒常的な否定文】

- (107) te érá nɔ-xáy.  
 3SG meat NEG-eat.3SG.PRS  
 「彼は肉を食べない」

4-22-a 今日（今日は）寒い。【感覚述語・非人称文／感覚主体の存在が感じられない，より客観的な表現】

- (108) ecce jar.  
 today cold  
 「今日は寒い」

4-22-b 私は（何だか）寒い（私には寒く感じる）。【感覚述語・非人称文／斜格主語】

- (109) {mɔr/mɔttún} jar gɔré.  
 {1SG.GEN/1SG.ABL} cold do.3SG.PRS  
 「私は寒い（直訳: {私の/私から}寒くする）」

<sup>26</sup> *nijé=i* ‘self=EMPF’ は，本来は *nije=i* ‘self=EMPF’ である。ただし，*i* の前で *ɛ > e* に変化している。アクセントが移動しているように見えるのは，文の音調がかぶさっている可能性をうたがわせる。

4-23 人がとても多かったことに私は驚いた。【(感情主体が受動的である) 感情述語】

- (110) a. bæc manúc elák xe=néy, muy amók óyoŋ.  
 many people exist.3PL.PST say.CVB=SEQ 1SG surprised become.1SG.PRS.PRF  
 「たくさんの人がいたので、私は驚いた」
- b. muy amók óyoŋ=ŋɛ bæc manúc elák xe=ney.<sup>27</sup>  
 1SG surprised become.1.PRS.PRF=NMLS many people exist.3PL.PST say.CVB=SEQ  
 「私が驚いたのは、たくさんの人がいたということです」

4-24 雨が降り始めた。【現象文・現場での直接体験】

- (111) jór (φora) {arambó/súru} óló.  
 rain(n) (fall.VN) {start(n)/start(n)} become.3SG.PST  
 「雨(降り)が始まった」

4-25 この本はよく売れる。【中間構文】

- (112) a. e boóy-bó gɔm beja óy.  
 this book-DEF good sell.VN become.3SG.PRS  
 「この本はよく売れる」
- b. e boóy-bó beja gɔm (óy).  
 this book-DEF sell.VN good (become.3SG.PRS)  
 「この本は販売がよい」

5. 「所有・存在表現」(語研論集 第18号)

5-1 あの人(女)は青い目をしている。／青い目の人・目が青い人【一体的(譲渡不可能的)な、恒常的な所有(1)】

- (113) a. tar él sok agé.  
 3SG.GEN blue eye exist.3SG.PRS  
 「彼(女)は青い目をしている(直訳: 彼(女)の青い目がある)」<sup>28</sup>
- b. tar sok él (agé).  
 3SG.GEN eye blue (exist.3SG.PRS)  
 「彼(女)の目は青い」
- c. él sok-ó(-r) manúc.  
 blue eye-EP(-GEN) person  
 「青い目の人」
- d. él sok-wala manúc.  
 blue eye-having person  
 「青い目をもった人」

<sup>27</sup> 文末の xe=ney 'say.CVB=SEQ' はなくてもいいけれども、あったほうが自然であるという。

<sup>28</sup> (113-a) は、「彼(女)は人形か何かの青い目を所有している」という意味にとられるかもしれない、意味が曖昧である。もしも「青い」という修飾語がなければ、「彼本人の目」と解するのが普通であるという。

5-2 あの女 {は／の} 髪が長い・あの女は長い髪をしている／長い髪の女・髪の長い女【一体的な、恒常的な所有 (2)】

- (114) a. ta(r)      lamba sul agé.  
 3SG.GEN long hair exist.3SG.PRS  
 「彼（女）は長い髪をしている（直訳：彼（女）の長い髪がある）」<sup>29</sup>
- b. tar          sul lamba (agé).  
 3SG.GEN hair long (exist.3SG.PRS)  
 「彼（女）の髪は長い」
- c. lamba sul-ɔ(-r)      mile.  
 long hair-EP(-GEN) woman  
 「長い髪の女」
- d. lamba sul-wala      mile.  
 long hair-having woman.  
 「長い髪をもった女」

5-3 あの人には髭がある。／髭の男【非普通所有物】

- (115) a. tar          darí agé.  
 3SG.GEN beard exist.3SG.PRS  
 「彼はひげをもっている（直訳：彼のひげがある）」<sup>30</sup>
- b. darí-wala      manúc.  
 beard-having person  
 「ひげをもった男」

5-4 あの人には（見る）目がある。／見る目のある人【慣用句的表現】

- (116) a. ta(r)      sok-kún lamba (agón).  
 3SG.GEN eye-PL long (exist.3PL.PRS)  
 「彼（女）は異性に目うつりしがちである（直訳：彼（女）には長い目がある）」
- b. lamba sok-wala/\*sok-kún-wala manúc.  
 long eye-having/eye.PL-having person.  
 「異性に目うつりしがちな人（直訳：長い目がある人）」<sup>31</sup>

<sup>29</sup> (114-a) は、「彼（女）は誰かの髪の毛をもっている」という意味にとられるかもしれない、意味が曖昧である。もしも「長い」という修飾語がなければ、「彼本人の髪」と解するのが普通であるという。

<sup>30</sup> (115-a) は、文脈によっては、「彼は誰かのひげをもっている」という意味になりうる。しかし、修飾語がついていない状況では「彼本人のひげ」と解するのが普通である。

<sup>31</sup> (116-b) は、文字どおりに「物理的に長い目をもった人」という意味もありうる。他方、(116-a) では「長い目」といういいかたに対しては「異性に目うつりする、浮気しそうである」という慣用的な意味しかない。

5-5 あの人は22歳だ。／22歳の人【側面語のある表現(1)】

- (117) a. ta(r) bəyɔc bec.  
 3SG.GEN age twenty.two  
 「彼(女)の年齢は22だ」
- b. bec bəjɔr bəyɔc-ɔ(-r) manúc.  
 twenty.two year age-EP(-GEN) person  
 「22歳の人(直訳: 22年の年齢の人)」

5-6 あの人は優しい性格だ。／優しい性格の人【側面語のある表現(2)】

- (118) a. ta(r) sit daɲɔr (agé).  
 3SG.GEN liver big (exist.3SG.PRS)  
 「彼(彼女)はやさしい(直訳: 彼(女)の肝は大きい)」
- b. tar {doye/meye} agé.  
 3SG.GEN {kindness/affection} exist.3SG.PRS  
 「彼(女)のやさしさがある」
- c. {doye/meye} manúc.  
 {kindness/affection} person  
 「やさしい人」

5-7 あの人は背が高い。／背の高い人【側面語のある表現(3)】

- (119) a. tɛ lamba (manúc).  
 3SG long (person)  
 「彼(女)は(背が)高い(人だ)」
- b. ta(r) {xeye/ɔjɔr} lamba.  
 3SG.GEN {body/height} long  
 「彼(女)の身長は高い(直訳: 彼(彼女)の体は長い)」
- c. lamba {xeye(-r)/ɔjɔr-ɔ(-r)} manúc.  
 long {body(-GEN)/height-EP(-GEN)} person  
 「高い身長の人(直訳: 長い体の人)」
- d. lamba {xeye-wala/ɔjɔr-wala} manúc.  
 long {body-having/height-having} person  
 「高い身長をもった人(長い体をもった人)」
- e. {xeye-ndí/ɔjɔr-ɔ-ndí} lamba manúc.  
 {body-ALL/height-EP-ALL} long person  
 「身長が高い人(直訳: 身長の方面で長い人)」

5-8 あの人は背が190センチもある。【側面語のある表現(4), 属性数量詞構文】

- (120) a. tɛ ɛk-sɔ-nobboy séntímitar lamba.  
 3SG one-hundred-ninety centimetre long  
 「彼は190センチの高さだ」

- b. tar {xeye/ɔjɔr} ek-só-nobboy séntímitar.  
 3SG.GEN {body/height} one-hundred-ninety centimetre  
 「彼の身長は190センチだ」

5-9 その石は四角い形をしている。／四角い（形の）石【側面語のある表現 (5)】

- (121) a.  $\phi$ attór-bó ser-xunne.  
 stone-DEF four-corner  
 「その石は四角い」  
 b. ser-xunne(-r)  $\phi$ attór.  
 four-corner(-GEN) stone  
 「四角い（四角の）石」

5-10 あの人には才能がある。／才能のある人【属性】

- (122) a. tar madá agé.<sup>32</sup>  
 3SG.GEN head exist.3SG.PRS  
 「彼（女）はかしこい（直訳：彼（女）の頭がある）」  
 b. madá-wala manúc.  
 head-having person  
 「知性のある人（直訳：頭のある人）」

5-11 あの人は病気だ。／あの人は熱がある。／病気の人【一時的属性】

- (123) a. te ɔjúk.<sup>33</sup>  
 3SG sick  
 「彼（女）は病気だ」  
 b. tar jɔr agé.  
 3SG.GEN fever exist.3SG.PRS  
 「彼（女）には熱がある（直訳：彼（女）の熱がある）」  
 c. ɔjúk manúc.  
 sick person  
 「病気の人」

5-12 あの人は青い服を着ている。／青い服の男【衣服等 (1)】

- (124) a. te él sílúm {uré/urér/urí age}.  
 3SG blue shirt {wear.3SG.PRS/wear.3SG.PRS.PROG/wear.CVB exist.3SG.PRS}  
 「彼（女）は青いシャツを着ている」

<sup>32</sup> 冗談めかして *tar gílúk bec agé* ‘3SG.GEN brain very exist.3SG.PRS’ 「彼（彼女）の脳みそがとてもある」という表現をすることもある。

<sup>33</sup> [ɔjúk] がチャクマ語らしい発音であるけれども、ベンガル語の影響により母音間の無声阻害音が有声化せず [ɔsúk] と発音されることもおおい。

- b. él sílúm-ɔ-r manúc.  
blue shirt-EP-GEN person  
「青いシャツの人」
- c. él sílúm urá manúc.  
blue shirt wear.VN person  
「青いシャツを着た人」

5-13 あの人はメガネをかけている。／メガネの男【衣服等 (2)】

- (125) a. tɛ soksámá {φɔré/φɔréɾ/φorí agɛ}.  
3SG glasses {wear.3SG.PRS/wear.3SG.PRS.PROG/wear.CVB exist.3SG.PRS}  
「彼はメガネをかけている (直訳: 彼はメガネを着ている)」
- b. soksámá-wala manúc.  
glasses-having person  
「メガネをかけた人 (直訳: メガネをもった人)」
- c. soksámá φorá manúc.  
glasses wear.VN person  
「メガネをかけた人 (直訳: メガネを着た人)」

5-14 あの人には妻がいる。／既婚の人・妻のいる人【親族の所有 (1)】

- (126) a. tar mok agé.  
3SG.GEN wife exist.3SG.PRS  
「彼の妻がいる (意訳: 彼には妻がいる)」
- b. mok agé(=té)<sup>34</sup> manúc.  
wife exist.3SG.PRS(=NMLS) person  
「妻がいる人」
- c. mok-wala manúc.  
wife-having person  
「妻をもった人」

5-15 あの人には3人子供がいる。／3人の子持ちの人・あの人の3人の子供／妊娠している女性【親族の所有 (2)】

- (127) a. tar {tin-nó/tin-jɔn} φuo+jí agón.  
3SG.GEN three-DEF/three-CLF:person son+daughter exist.3PL.PRS  
「彼(女)の3人の子供がいる (彼(女)には3人の子供がある)」
- b. tin φuo+jí-wala manúc.  
three son+daughter-having person  
「3人の子供がいる人 (直訳: 3人子供をもった人)」

<sup>34</sup> (126-b) は agé=té ‘exist.3SG.PRS=NMLS’ とする方がよりわかりやすい。

- c.  $\phi$ idili mile.  
pregnant woman  
「妊娠した女」

5-16 タコには足が 8 本ある。【普遍的な事実】

- (128)  $\text{ottopac-}\omega\text{-r}$  acto-wán téŋ agé.<sup>35</sup>  
octopus-EP-GEN eight-DEF leg exist.3SG.PRS  
「タコには 8 本の足がある (直訳: タコの 8 本足がある)」

5-17 その飲み物にはアルコールが入っている。／アルコール入りの飲み物【ともに無生物，含有物】

- (129) a. o  $\phi$ aní-yan- $\omega$ -t mət agé.  
that water-DEF-EP-LOC alcohol exist.3SG.PRS  
「その飲料にアルコールがある」  
b. o  $\phi$ aní-yan- $\omega$ -r bídíré mət agé.  
that water-DEF-EP-GEN place.inside alcohol exist.3SG.PRS  
「その飲料の中にアルコールがある」  
c. mət mijéyé  $\phi$ aní.  
alcohol mixed water  
「アルコール入り飲料」

5-18 あの人はお金を持っている。／お金持ちの人【もっとも一般的な所有，やや恒常的】

- (130) a. tar te(ŋ)a- $\phi$ oyjé agé.  
3SG.GEN money-penny exist.3SG.PRS  
「彼(女)のお金がある(彼(女)にはお金がある)」  
b. te(ŋ)a- $\phi$ oyjé-wala manúc.  
money-penny-having person  
「お金を持っている人」  
c. te {dóni/máájón}.  
3SG {rich/big.man}  
「彼(女)は金持ちだ」

5-19 おまえのところには犬がいるか？／犬のいる人【所有，やや恒常的，所有物は有生・家畜】

- (131) a. tər xi xu(g)ur agón?  
2SG.GEN PQ dog exist.3PL.PRS  
「おまえの犬はいるか？」

<sup>35</sup> タコの足が 8 本あるので，述部動詞は 3 人称複数の形式になることが期待される。しかし，均質な複数に対しては，述部動詞は単数形となる。他方，均質でない複数に対しては，(127a) のように，述部動詞も複数形となる。

- b. tɔ(r) idú<sup>36</sup> xi xu(g)ur agón?  
 2SG.GEN here PQ dog exist.3PL.PRS  
 「おまえのところに犬はいるか？」
- c. tɔ(r) indí xi xu(g)ur agón?  
 2SG.GEN here.ALL PQ dog exist.3PL.PRS  
 「おまえの方に犬はいるか？」
- d. tɔttún xi xu(g)ur agón?  
 2SG.ABL PQ dog exist.3PL.PRS  
 「おまえのところに犬はいるか？ (直訳: おまえのところから犬はいるか?)」
- e. xu(g)ur-wala manúc.<sup>37</sup>  
 dog-having person  
 「犬を持った人」

(131-a) や(131-b) にしめすように、諾否疑問文において対象の数が不明であるばあいには、三人称複数でたずねるのが普通である。もしも三人称単数でたずねたとすると、この例の場合ならば「犬が一匹いるか」と質問していることになり、不適切である。

5-20 おまえは（自分の）ペンを持っているか？ / ペンを持っている人【一時的携帯物・自分のもの】

- (132) a. tɔr xi (nij-ɔ(-r)) xɔləm agón?  
 2SG.GEN PQ (own-EP(-GEN)) pen exist.3PL.PRS  
 「おまえの（自分の）ペンがあるか？」
- b. tɔ(r) idú xi (nij-ɔ(-r)) xɔləm agón?  
 2SG.GEN here PQ (own-EP(-GEN)) pen exist.3PL.PRS  
 「おまえのところに（自分の）ペンがあるか？」
- c. tɔ(r) indí xi (nij-ɔ(-r)) xɔləm agón?  
 2SG.GEN here.ALL PQ (own-EP(-GEN)) pen exist.3PL.PRS  
 「おまえのところに（自分の）ペンがあるか？」
- d. tɔttún xi (nij-ɔ(-r)) xɔləm agón?  
 2SG.GEN.ABL PQ (own-EP(-GEN)) pen exist.3PL.PRS  
 「おまえのところに（自分の）ペンがあるか？ (直訳: お前のところから（自分の）ペンがあるか?)」
- e. xɔləm-wala manúc.<sup>38</sup>  
 pen-having person  
 「ペンを持った人」

<sup>36</sup> idú 'here' は文字どおりには「こちらに」という意味である。しかし、ここでは「～のところに」という意味となっている。

<sup>37</sup> (131-e) は、文字通りには「犬を持った人」となるけれども、罵倒表現としてもちいられることもある。

<sup>38</sup> このような表現は、理解可能ではあるけれども、あまり使用されない。もしも使用するとしたら、「大量のペンをもっている人」という含意がうまれる傾向にある。

ペンが何本あるか不明であるときには三人称複数をつかう。ペンが一本しかないことが確定しているならば，三人称単数をつかう。

5-21 あの人は（誰か別の人の）ペンを持っている。【一時的携帯物・他人のもの】

- (133) a. tar onn(y)o-r xɔləm agón.  
 3SG.GEN other-GEN pen exist.3PL.PRS  
 「彼（女）のところには他人のペンがある」
- b. ta(r) idú onn(y)o-r xɔləm agón.  
 3SG.GEN here other-GEN pen exist.3PL.PRS  
 「彼（女）のところには他人のペンがある」
- c. ta(r) idú (onn(y)o) manç-ó-r xɔləm agón.  
 3SG.GEN here (other) person-EP-GEN pen exist.3PL.PRS  
 「彼（女）のところには（他の）人のペンがある」

ペンが何本あるか不明であるときには三人称複数をつかう。ペンが一本しかないことが確定しているならば，三人称単数をつかう。

5-22 あの人は運がいい。／幸運な人【抽象的・一時的所有物】

- (134) a. tar bággyó agé.  
 3SG.GEN fortune exist.3SG.PRS  
 「彼（女）には運がある（直訳：彼（女）の運がある）」
- b. tar xɔbal gɔm (agé).  
 3SG.GEN forehead good (exist.3SG.PRS)  
 「彼（女）の運はよい（直訳：彼（女）の額はよい）」
- c. bággyóban manúc.  
 lucky person  
 「運がある人」
- d. xɔbal gɔm manúc.  
 forehead good person  
 「運がよい人（直訳：額がよい人）」

5-23 ここは石が多い。／石の多い土地【恒常的存在＞状態／性質】

- (135) a. idú boút φattór {agé/agón}.<sup>39</sup>  
 here many stone {exist.3SG.PRS/exist.3PL.PRS}  
 「ここにたくさんの石がある」

<sup>39</sup> 個々の石が個体として認識できないならば三人称単数，個体として認識できるならば三人称複数をつかう。たとえば，山の麓から「あの山の山頂にはたくさん石がある」などといえ，三人称単数である。他方，「この河原にはたくさん石がある」などといえ，三人称複数である。

- b.  $\phi$ attór-ó(-r) jaga.  
 stone-EP(-GEN) place  
 「石の場所」

5-24 その部屋には椅子が3つある／3つ椅子のある部屋【非恒常的存在と数量】

- (136) a. o gór-ó-t seár tin-án {agé/\*agón}.  
 that room-EP-LOC chair three-DEF {exist.3SG.PRS/\*exist.3PL.PRS}  
 「その部屋に椅子が3つある」
- b. o gór-ó-t tin-án seár agé.  
 that room-EP-LOC three-DEF chair exist.3SG.PRS  
 「その部屋に3つ椅子がある」
- c. o gór-ó-t tin-jøn manúc {agón/\*agé}.  
 that room-EP-LOC three-DEF:person person {exist.3PL.PRS/\*exist.3SG.PRS}  
 「その部屋に3人人がいる」
- d. o gór-ó-t tin-nó boóy {agón/\*agé}.  
 that room-EP-LOC three-DEF book {exist.3PL.PRS/\*exist.3SG.PRS}  
 「その部屋に3冊本がある」

(136-a)のように「椅子が3つ」というときには、「おなじ種類の椅子が3つ」と理解される。したがって、述部動詞は三人称単数となる。他方、(136-c)や(136-d)のように「人」や「本」のばあいには、個別性がたかくなるので、述部動詞は三人称複数となる。(136-d)においては、もしも「おなじ本が3冊」ということであれば、述部動詞は三人称単数となりうる。

5-25 テーブルの上にスプーンがある。／スプーンのあるテーブル【存在・存在が新情報】

- (137) a. tebíl-ó-r u(g)ure samic agé.  
 table-EP-GEN place.above.ADV spoon exist.3SG.PRS  
 「テーブルの上にスプーンがある」
- b. samic-wala tebíl.  
 spoon-having table  
 「スプーンがあるテーブル」

(137-a)は普通に使用される。(137-b)はまず使用されないけれども、冗談のようにいうことはありうる。

5-26 そのスプーンはテーブルの上にある。／テーブルにあるスプーン【所在・場所が新情報】

- (138) a. samic-cán tebíl-ó-r u(g)ure agé.  
 spoon-DEF table-GEN place.above-EP-LOC exist.3SG.PRS  
 「そのスプーンはテーブルの上にある」
- b. tebíl-ó-r samic.  
 table-EP-GEN spoon  
 「テーブルのスプーン」

5-27 そのペンは私のだ。・そのペンは太郎のだ。／私のペン・太郎のペン【所有物，属格のプロトタイプ】

- (139) a. sé(y) xəlɔm-mó mər.  
 that pen-DEF 1SG.GEN  
 「そのペンは私のだ」  
 b. mɔ(r) xəlɔm.  
 1SG.GEN pen  
 「私のペン」

5-28 昨日，学校で火事があった。／私は明日用事があります。【できごとの生起】

- (140) a. gelle xelle ikkul-ɔ-t agún bajjé.  
 gone one.day.from.today school-EP-LOC fire touch.3SG.PRS.PRF  
 「昨日学校で火事があった（直訳：火が触れた）」  
 b. ejér=té xelle mər xam agé.  
 come.3SG.PRS.PROG=NMLS one.day.from.today 1SG.GEN work(n) exist.3SG.PRS  
 「明日私の仕事があります（直訳：来る日私の仕事があります）」

5-29 （この世には）お化けなんていない。【実在文】

- (141) (e φittimí-t) bút ney.  
 (this earth-LOC) ghost NEG.exist  
 「（この地上には）お化けはいない」

5-30 （そこには）英語を話す人もいるが，話さない人もいる。【絶対存在文 (1)】

- (142) (sí-yɔ-t) ɪŋgereji xɔn=té manúç=ó agón, xindu  
 (that-EP-LOC) English speak.3PL.PRS=NMLS person=too exist.3PL.PRS but  
 nɔ-xɔn=té manúç=ó agón.  
 NEG-speak.3PL.PRS=NMLS person=too exist.3PL.PRS  
 「（そこには）英語を話す人もいるが，話さない人もいる」

5-31 私より英語ができる人は（ほかに／もっと）います。【絶対存在文 (2)】

- (143) məttún bɛç gɔm ɪŋgereji janón=té manúç agón.  
 1SG.ABL very good English be.able.to.3PL.PRS=NMLS person exist.3PL.PRS  
 「私よりさらによく英語ができる人がいる」

5-32 ちょっとあなたにお願いがあります。【抽象的なことの所有・発話内効力のある文】

- (144) tɔ(r) idú mər ékkéna xujólí agé.  
 2SG.GEN here 1SG.GEN some request(n) exist.3SG.PRS  
 「あなたのところに私のちょっとしたお願いがあります」

5-33 冬の雨【時間】 東京の家【場所】

- (145) a. jar xal-ɔ-r jór.  
cold season-EP-GEN rain(n)  
「冬の雨」
- b. tokio-r gór.  
Tokyo-GEN house  
「東京の家」

5-34 彼の泳ぎ／犬の鳴き声／火山の爆発【B が行為を示す名詞である場合の主体】車の運転【同じく客体／対象】 ～の小説【A の生産物である B】

- (146) a. tar {sájur/sájura}.  
3SG.GEN {swimming/swim.VN}  
「彼の泳ぎ」
- b. xu(g)ur-ɔ(-r) {rɔ/dak}.  
dog-EP(-GEN) {sound/bark}  
「犬の{声/鳴き声}」
- c. a(g)ún-ó giri φúdá.  
fire-EP.GEN mountain explode.VN  
「火山の爆発」
- d. garí {sala/salana}.  
car {driving/drive.VN}  
「車の運転」
- e. raju-r φójjón.  
PSN-GEN tale  
「ラジュのお話」

5-35 X さん（固有名詞）のお母さん【親族】 机の横に／机の前に／\*机に（来て！）【場所名詞】あ  
の人の次【時間的關係】

- (147) a. raju-r ma.  
PSN-GEN mother  
「ラジュの母」
- b. tebíl-ɔ(-r) dáḡ-ɔ-t (ay).  
table-EP(-GEN) place.beside-EP-LOC (come.2SG.PRS.IMP)  
「机の横に（来い）」
- c. tebíl-ɔ(\*-r) xurɛ (ay).  
table-EP(\*-GEN) place.near.LOC (come.2SG.PRS.IMP)  
「机の近くに（来い）」
- d. tebíl-ɔ(-r) mujúŋ-ɔ-t (ay).  
table-EP(-GEN) place.front-EP-LOC (come.2SG.PRS.IMP)  
「机の前に（来い）」

- e. tebíl-ó-t (ay).  
table-EP-LOC (come.2SG.PRS.IMP)  
「机に（来い）」

5-36 バラの花びら【種別】果物のナイフ【用途】紙の飛行機【材料・材質】チューリップの絵【内容】花の匂い【産出物】英文の手紙【表現形式(?)】日本語の先生【職種】井戸の水【取得源】  
[「～の果物」のような産地でも良い] 雨の日【状況】

- (148) a. golap+φúl-ó(-r) φaór.  
rose+flower-EP(-GEN) petal  
「バラの花びら」  
b. φól-ó-r súrí.  
fruit-EP-GEN knife  
「果物のナイフ」  
c. xaboç-o(-r) urojaác.  
paper-EP(-GEN) airplane  
「紙の飛行機」  
d. golap-ó-r sóbi.  
rose-EP-GEN picture  
「バラの絵」  
e. φúl-ó(-r) bac.  
flower-EP(-GEN) smell(n)  
「花の匂い」
- (149) a. ñgereji sidí.  
English letter  
「英語の手紙」  
b. jabani bája-r mactor.  
Japanese language-GEN teacher  
「日本語の先生」  
c. jabani φorána-r mactor.  
Japanese teach.VN-GEN teacher  
「日本語を教える先生」  
d. jabani mactor.  
Japanese teacher  
「日本人の先生/日本語の先生」
- (150) a. xuo(-r) φaní.  
well(-GEN) water  
「井戸の水」

- b. jór-ó(-r)      din.  
rain-EP(-GEN) day  
「雨の日」

5-37 妹の花子／社長の田中さん 【同格】

- (151) a. mɔ(r)      siyon bón mina.  
1SG.GEN small sister PSN  
「私の妹ミナ」  
b. xumboni(-r)      malik rajū.  
company(-GEN) owner PSN  
「会社のオーナー・ラジュ」

5-38 となりの家の友達のお父さんの車のタイヤ（が昨日突然パンクしたんだって。） 【属格の連続使用】

- (152) xure<sup>40</sup>      gór-ó-r      sómájjé(-r)      bap-ɔ-r      garí-r      sakka.  
place.near house-EP-GEN friend(-GEN) father-EP-GEN car-GEN wheel  
「となりの家の友達のお父さんの車の車輪」

6. 「他動性」（語研論集 第 19 号）

6-1 【直接影響・変化】

6-1-a 彼はそのハエを殺した。

- (153) te      mají-bó-rɛ      majjé.  
3SG fly-DEF-ACC kill.3SG.PRS.PRF  
「彼（女）はそのハエを殺した」

6-1-b 彼はその箱を壊した。

- (154) te      baksú-bó báŋŋe.  
3SG box-DEF break.3SG.PRS.PRF  
「彼（女）はその箱を壊した」

6-1-c 彼はそのスープを温めた。

- (155) te      súp-pan      gɔrɔm gojjé.  
3SG soup-DEF hot      do.3SG.PRS.PRF  
「彼（女）はそのスープをあたたくした」

<sup>40</sup> xure 'place.near' は属格の-r をつけてもよいけれども、つけない方が普通である。

6-1-d 彼はそのハエを殺したが，死ななかった。（言えるか？ 言えないか？）

- (156) a. *te mají-bó-re majjé, xindu nó-móré.*  
 3SG fly-DEF-ACC kill.3SG.PRS.PRF but NEG.PRF-NEG.die.3SG.PRS.PRF  
 「彼はそのハエを殺した（直訳：叩いた）が，（そのハエは）死ななかった」
- b. *te mají-bó-re majjé, xindu mara nó-jáy.*  
 3SG fly-DEF-ACC kill.3SG.PRS.PRF but kill.VN NEG.PRF-NEG.go.3SG.PRS.PRF  
 「彼はそのハエを殺した（叩いた）が，（そのハエは）死ななかった（直訳：殺せな  
 かった）」

*majjé*には「叩いた」という意味と「殺した」という意味がある。したがってここでは、「叩いたけど死ななかった」という解釈と「殺したけど死ななかった」という解釈がありうる。このようなまぎらわしさをさけるために、次例に「開ける」としか解釈できない動詞の例をあげておく。

- (157) *te duor-án xülle, xindu xúlá nó-jáy.*  
 3SG door-DEF open.3SG.PRS.PRF but open.VN NEG.PRF-NEG.go.3SG.PRS.PRF  
 「彼（女）はドアを開けたが開かなかった（直訳：開けなかった）」

6-2 【直接影響・無変化】

6-2-a 彼はそのボールを蹴った。

- (158) *te ból-ló<sup>41</sup> ladí diyé.*  
 3SG ball-DEF kick(n) give.3SG.PRS.PRF  
 「彼はそのボールに蹴りをあたえた」

6-2-b 彼女は彼の足を蹴った。

- (159) *te ta(r) {téŋ-an-ɔ-re/téŋ-ɔ-t<sup>42</sup>} ladí diyé.*  
 3SG 3SG.GEN {leg-DEF-EP-ACC/leg-EP-LOC} kick(n) give.3SG.PRS.PRF  
 「彼女は彼の足を蹴った」

6-2-c 彼はその人にぶつかった（故意に）。

- (160) a. *te sé(y) manúc-có-re xéc<sup>43</sup> gori dékká<sup>44</sup> diyé.*  
 3SG that person-DEF-ACC? do.CVB push(n) give.3SG.PRS.PRF  
 「彼はその人にわざとぶつかった（直訳：押すことをあたえた）」

<sup>41</sup> *ból-ló* ‘ball-DEF’ のアクセントは HH ではなく HL となることが予想される。なぜ HH であるかは不明である。

<sup>42</sup> *téŋ-ɔ-re* ‘leg-EP-ACC’ というと「彼女自身の足」と理解されるとのことである。

<sup>43</sup> *xéc gori* ‘? do.SEQ’ 全体で「わざと」という意味である。*xéc* 単独での意味は不明である。なお、*gori* ‘do.SEQ’ は本来は *gorí* であるけれども、高声調の語のあとで変調し、*gori* となっている。

<sup>44</sup> ベンガル語からの借用語である *dákká* も使用されうる。

- b. *te sé(y) manúc-có-re xéc gori télle.*  
 3SG that person-DEF-ACC ? do.CVB push.3SG.PRS.PRF  
 「彼はその人をわざと押した」

6-2-d 彼はその人とぶつかった（うっかり）.

- (161) a. *te séy manúc-có-ttun dékká {xéye/\*laggé}.*  
 3SG that person-DEF-ABL push(n) eat.3SG.PRS.PRF/\*feel.3SG.PRS.PRF  
 「彼はその人とぶつかった（直訳: その人から押すことをくらった）」
- b. *te séy manúc-có loy dékká {xéye/laggé}.*  
 3SG that person-DEF take.SEQ push(n) eat.3SG.PRS.PRF/feel.3SG.PRS.PRF  
 「彼はその人とぶつかった（直訳: その人と押すことをくらった/その人と押すことを感じた）」

「うっかり」という含意があるのは(161-b)で *laggé* ‘feel.3SG.PRS.PRF’ をもちいたいいかたである.

### 6-3 【知覚 2A vs. 2B】

6-3-a あそこに人が数人見える.

- (162) *ú-wə-t xijú manúc de(g)á jay.*  
 there-EP-LOC some person see.VN go.3SG.PRS  
 「あそこに何人か人が見える」

6-3-b 私はその家を見た.

- (163) *muy gór-an dekkój.*  
 1SG house-DEF see.1SG.PRS.PRF  
 「私はその家を見た」

6-3-c 誰かが叫んだのが聞こえた.

- (164) *xar-ó-r rə súná jeyé.*  
 someone-EP-GEN voice hear.VN go.3SG.PRS.PRF  
 「他の誰かの声が聞こえた」

6-3-d 彼はその音を聞いた.

- (165) *te rə-bó súnne.*  
 3SG sound-DEF hear.3SG.PRS.PRF  
 「彼はその音を聞いた」

### 6-4 【(知覚 2A) 発見・獲得・生産など】

6-4-a 彼は（なくした）カギを見つけた.

- (166) *te (ájéyé) sabí-yán to(g)e φéyé.*  
 3SG (lose.3SG.PRS.PRF) key-DEF search.CVB get.3SG.PRS.PRF  
 「彼は（なくした）鍵を探して手に入れた」

6-4-b 彼は椅子を作った.

- (167) te seár-án baneyé.  
3SG chair-DEF make.3SG.PRS.PRF  
「彼は椅子を作った」

6-5 【追及】

6-5-a 彼はバスを待っている.

- (168) a. te baác-cán baccé agé.  
3SG bus-DEF wait.CVB exist.3SG.PRS  
「彼はそのバスを待っている」  
b. te baác-cán baccár.  
3SG bus-DEF wait.3SG.PRS.PROG  
「彼はそのバスを待っている」

6-5-b 私は彼が来るのを待っていた.

- (169) muy te ebó xo(y)=néy baccé téyoŋ.  
1SG 3SG. come.3.FUT say.CVB=SEQ wait.CVB stay.3SG.PRS.PRF  
「私は彼が来るというので待っていた」

6-5-c 彼は財布を探している.

- (170) te te(ŋ)a+xóllé t(ɡ)ar.  
3SG money+bag search.3SG.PRS.PROG  
「彼は財布を探している」

6-6 【知識 1】

6-6-a 彼はいろんなことをよく知っている.

- (171) te boút+xijú<sup>45</sup> jane.<sup>46</sup>  
3SG many+few know.3SG.PRS  
「彼はたくさん知っている」

6-6-b 私はあの人を知っている.

- (172) muy o manúc-có-re sinóŋ.  
1SG that person-DEF-ACC know.1SG.PRS  
「私はあの人を知っている」

<sup>45</sup> *boút+xijú* ‘many+few’ はいわゆる精巧表現 (elaborate expression) である。そのまま訳せば「たくさん・すくない」であるけれども、実際には「たくさん」という意味である。

<sup>46</sup> 「知識として知っている」ことをあらわすには *jana* ‘know.VN’ をもちいる。ここでは、それが三人称の形式であらわれている。

6-6-c 彼はロシア語ができる。

- (173) te rajíyá xodá φare.  
3SG Russian language can.3SG.PRS  
「彼はロシア語ができる」

6-7 【知識 2】

6-7-a あなたはきのう私が言ったことを覚えていますか？

- (174) gelle xelle muy ji-(g)án xóyóŋ sí-yan xi tər mən-ɔ-t agé?  
gone day 1SG REL-DEF say.1SG.PRS.PRF that-DEF PQ 2SG.GEN heart-EP-LOC exist.3SG.PRS  
「昨日私が言ったこと、それはあなたは覚えていますか (直訳: あなたの心にありますか) ?」

6-7-b 私は彼の電話番号を忘れてしまった。

- (175) muy tar φón+nombór {φurí/φα(g)óri}<sup>47</sup> φέλλοŋ.  
1SG 3SG.GEN phone+number {forget.CVB/forget.CVB} throw.away.1SG.PRS.PRF  
「私は彼の電話番号を忘れてしまった」

6-8 【感情 1】

6-8-a 母は子供たちを深く愛していた。

- (176) ma-bó φuo-ún-ó-ré xúp xoc φedó.  
mother-DEF offspring-PL-EP-ACC very love(n) get.3SG.PST.HBT  
「母は子供たちをととも愛していた」

6-8-b 私はバナナが好きだ。

- (177) muy xola gəm φáj.<sup>48</sup>  
1SG banana good get.1SG.PRS  
「私はバナナを好む」

6-8-c 私はあの人を嫌いだ。

- (178) muy o manúc-có-re gíná gərɔŋ.  
1SG that person-DEF-ACC hating.very.much do.1SG.PRS  
「私はあの人をととも嫌う」

<sup>47</sup> φuríも φα(g)óriも形式的には動詞の接続形式とおなじである。しかし、動詞として人称変化してもちいられることはない。

<sup>48</sup> gəm φaná ‘good get.VN’ で「好きである」という熟語である。

## 6-9 【感情 2】

### 6-9-a 私は靴が欲しい。

- (179) a. *muy jɔda sáŋ.*  
 1SG shoe want.1SG.PRS  
 「私は靴が欲しい」
- b. *mɔr jɔda laŋe.*  
 1SG.GEN shoe touch.3SG.PRS  
 「私の靴が必要だ（直訳：私には靴が感じられる）」

### 6-9-b 今，彼にはお金が要る。

- (180) *ikkú tar te(ŋ)a(-r)<sup>49</sup> dɔrxar.*  
 now 3SG.GEN money(-GEN) necessary  
 「今，彼にはお金の必要がある」

## 6-10 【感情 3】

### 6-10-a (私の) 母は (私の) 弟がうそをついたのに怒っている。

- (181) a. *mɔr siyon béy-é mijé xɔdá xɔná-r xarɔn-ɛ maá<sup>50</sup> rak*  
 1SG.GEN small brother-AGT false story say.VN-GEN reason-ADV my.mother anger  
*gɔréɾ.*  
 do.3SG.PRS.PROG  
 「私の弟が嘘の話を言うので，母は怒っている」
- b. *mɔr siyon béy-é mijé xɔdá xóyé xe=néy maá*  
 1SG.GEN small brother-AGT false story say.3SG.PRS.PRF say.CVB=SEQ my.mother  
*rak gɔréɾ.*  
 anger do.3SG.PRS.PROG  
 「私の弟が嘘を言ったので，母は怒っている」

### 6-10-b 彼は犬が怖い。

- (182) *te xu(g)ur(-ɔ-ré) dɔray.*  
 3SG dog(-EP-ACC) fear.3SG.PRS  
 「彼は犬を恐れる」

<sup>49</sup> 属格の-r 'GEN' は任意の要素である。

<sup>50</sup> *maá* 'my.mother' は，話者本人自身の「母（はは）」をさす。ここで *mɔr ma* '1SG.GEN mother' ということができる。しかし *mɔr maá* '1SG.GEN my.mother' ということはできない。

## 6-11 【関係 1】

6-11-a 彼は父親に似ている。

- (183) a. tɛ nij-ɔ-r bap-ɔ(-r) dókké.  
 3SG own-EP-GEN father-EP(-GEN) ESS  
 「彼は自分の父親のようだ」
- b. (nij-ɔ-r) bap-ɔ(-r)=sómáré tar mil agé.  
 (own-EP-GEN) father-EP(-GEN)=together 3SG.GEN similarity exist.3SG.PRS  
 「(自分の) 父親と彼の類似がある」

6-11-b 海水は塩分を含んでいる。

- (184) sá(g)ór-ɔ(-r) φaní-t mun agé.  
 sea-EP(-GEN) water-LOC salt exist.3SG.PRS  
 「海の水に塩がある」

## 6-12 【関係 2】

6-12-a 私の弟は医者だ。

- (185) a. mɔr siyon béy(-bo) dattɔr.  
 1SG.GEN small brother(-DEF) doctor  
 「私の弟は医者だ」
- b. mɔr siyon béy(=dɔ) dattɔr.  
 1SG.GEN small brother(=TOP) doctor  
 「私の弟は医者だ」
- c. mɔr siyon béy-bo=dó dattɔr.  
 1SG.GEN small brother-DEF=TOP doctor  
 「私の弟は医者だ」
- d. mɔr siyon béy(-bo)<sup>51</sup> ólɔ=tɛ<sup>52</sup> dattɔr.  
 1SG.GEN small brother(-DEF) become.3SG.PST=NMLS doctor  
 「私の弟は医者である」

<sup>51</sup> ここで *béy(-bo)* ‘brother(-DEF)’ に主題標識の *=dɔ/=dɔ* (*béy* の直後だと *=dɔ*, *béy-bo* の直後だと *=dɔ*) をつけると非文となる。

<sup>52</sup> *ólɔ=tɛ* は文字どおりには ‘become.3SG.PST=NMLS’ である。しかし、丁寧さをあらわすために過去形がつかわれることがあるという。ここでベンガル語ならば現在進行がもちいられるけれども、チャクマ語では現在進行形の *ór=tɛ* ‘become.3SG.PRS.PROG=NMLS’ がつかわれることはすくない。また、「私の弟は医者だった」といいたいならば, *mɔr siyon béy-bo dattɔr ɛlɔ* ‘1SG.GEN small brother-DEF doctor come.3SG.PST’ というのが普通である。なお、チャクマ語においては存在動詞の過去形は「くる」の過去形が補充法としてもちいられる。

6-12-b 私の弟は医者になった.

- (186) mər siyon béy(-bo)<sup>53</sup> dattər óye.  
 1SG.GEN small brother(-DEF) doctor become.3SG.PRS.PRF  
 「私の弟は医者になった」

6-13 【能力 1】

6-13-a 彼は車の運転ができる.

- (187) a. tɛ garí saley jané.  
 3SG car drive.CVB can.3SG.PRS  
 「彼は運転ができる」  
 b. tɛ garí saley φare.  
 3SG car drive.CVB can.3SG.PRS  
 「彼は運転ができる」

(187-a) は能力可能のみをあらわす.<sup>54</sup> (187-b) は文脈によって能力可能も状況可能もあらわしうる.

6-13-b 彼は泳げる.

- (188) a. tɛ sájuri jané.  
 3SG swim.CVB can.3SG.PRS  
 「彼は水泳ができる」  
 b. tɛ sájuri φare.  
 3SG swim.CVB can.3SG.PRS  
 「彼は水泳ができる」

(188-a) は能力可能のみをあらわす. (188-b) は文脈によって能力可能も状況可能もあらわしうる.

6-14 【能力 2】

6-14-a 6-14-a 彼は話をするのが上手だ.

- (189) a. tɛ {xɔdá/xɔdá-t/xɔdá-y} {φa(g)aná/xabil}.  
 3SG {word/word-LOC/word-LOC} {ripe/skillful}  
 「彼は話において{熟達している/巧みである}」  
 b. tɛ xɔdá xɔná {φa(g)aná/xabil}.  
 3SG word speak.VN {ripe/skillful}  
 「彼は話において{熟達している/巧みである}」

<sup>53</sup> ここで *béy-bo* ‘brother-DEF’ に主題標識の=*do*/*dó*をつけてもよい.

<sup>54</sup> 能力可能をあらわす *jané* ‘can.3SG.PRS’ は、「知る」をあらわす *janɛ* ‘know.3SG.PRS’ とおそらく同源形式である. ただし, アクセントの有無がことなっている.

- c. tɛ xɔdɑ(-r) raja.  
3SG word(-GEN) king  
「彼は話がとても上手だ (直訳: 彼は話の王様<sup>55</sup>である)」

6-14-b 彼は走るのが苦手だ.

- (190) a. tɛ dumura-na xaja.  
3SG run.VN-VN unripe.  
「彼は走ることが未熟だ」  
b. tɛ dumur-ɔ-t xaja.  
3SG running-EP-LOC unripe.  
「彼は走りにおいて未熟だ」

6-15 【移動】

6-15-a 彼は学校に着いた.

- (191) tɛ ikkul-ɔ-t lúmme.  
3SG school-EP-LOC arrive.3SG.PRS.PRF  
「彼は学校に着いた」

6-15-b 彼は道を渡った／横切った.

- (192) a. tɛ fɔt fɑr óye.  
3SG road river.bank become.3SG.PRS.PRF  
「彼は道を渡った」  
b. tɛ fɔt fɑr gojjé.  
3SG road river.bank do.3SG.PRS.PRF  
「彼は道を渡った」<sup>56</sup>

6-15-c 彼はこの道を通った.

- (193) a. tɛ e fɔt-tán-ó-ndí jeyé.  
3SG this road-DEF-EP-ALL go.3SG.PRS.PRF  
「彼はこの道の方に行った」  
b. tɛ e fɔt-tán dórí jeyé.  
3SG this road-DEF hold.CVB go.3SG.PRS.PRF  
「彼はこの道をとって行った」

<sup>55</sup> 何かに熟達していることを比喩的に「～の王様」と表現することは、特に「はなし」に対してよく使用される。

<sup>56</sup> 「彼は道を渡らせた」という解釈のほうが普通である。

## 6-16 【感覚 1】

### 6-16-a 彼はお腹を空かしている.

- (194) a. tar      φετ      φυρετ.  
 3SG.GEN stomach burn.3SG.PRS.PROG  
 「彼は空腹だ (直訳: 彼のお腹は燃えている)」
- b. tar      φετ      xáli (agé).  
 3SG.GEN stomach empty (exist.3SG.PRS)  
 「彼は空腹である (直訳: 彼のお腹は空である)」
- c. te xáli φετ-ε      (agé).  
 3SG empty stomach-ADV (exist.3SG.PRS)  
 「彼は空腹である (直訳: 彼は空腹のようにある)」

### 6-16-b 彼は喉が渴いている.

- (195) a. tar      gola suwéyé.  
 3SG.GEN neck be.dry.3SG.PRS.PRF  
 「彼の喉は乾燥した」
- b. tar      φανί sác<sup>57</sup>      γορέτ.  
 3SG.GEN water wanting do.3SG.PRS.PROG  
 「彼は水がほしい」

## 6-17 【感覚 2】

### 6-17-a 私は寒い.

- (196) a. {mɔr/mɔttún}      tánda<sup>58</sup> {lage/lager}.  
 {1SG.GEN/1SG.ABL} cold {touch.3SG.PRS/touch.3SG.PRS.PROG}  
 「私には寒さが感じられる」
- b. {mɔr/mɔttún}      jar<sup>59</sup> {γορέ/γορέτ}.  
 {1SG.GEN/1SG.ABL} cold {do.3SG.PRS/do.3SG.PRS.PROG}  
 「私には寒さが感じられる」

### 6-17-b 今日は寒い.

- (197) a. ecce tánda (lage/lager).  
 today cold (touch.3SG.PRS/touch.3SG.PRS.PROG)  
 「今日は寒い (と感じられる)」

<sup>57</sup> sác は 'want.2SG.PRS' と同音である. しかし, ここでは「ほしい」という意味で, 人称にかかわらずもちいられる.

<sup>58</sup> tánda 'cold' はヒトに対してもモノに対しても使用可能である.

<sup>59</sup> jar 'cold' はヒトに対してのみ使用可能であり, モノに対しては使用できない.

- b. ecce jar (gərɛ́/gərɛ́r).  
 today cold (do.3SG.PRS/do.3SG.PRS.PROG)  
 「今日は寒い (と感じられる)」

6-18 【(社会的) 相互行為 1】

6-18-a 私は彼を手伝った／助けた.

- (198) a. muy taré sáajjo gojjóŋ.  
 1SG 3SG.ACC help(n) do.1SG.PRS.PRF  
 「私は彼 (女) を助けた」
- b. muy taré bəl diyóŋ.  
 1SG 3SG.ACC power give.1SG.PRS.PRF  
 「私は彼 (女) を助けた (直訳: 力をあたえた)」

6-18-b 私は彼がそれを運ぶのを手伝った.

- (199) a. muy taré i-yán buwá=té sáajjo gojjóŋ.  
 1SG 3SG.ACC this-DEF carry.VN=NMLS help(n) do.1SG.PRS.PRF  
 「私は彼がそれを運ぶのを助けた」
- b. muy taré i-yán buwá=té bəl diyóŋ.  
 1SG 3SG.ACC this-DEF carry.VN=NMLS power give.1SG.PRS.PRF  
 「私は彼がそれを運ぶのを助けた (直訳: 運ぶのに力をあたえた)」

6-19 【(社会的) 相互行為 2 (言語行動)】

6-19-a 私はその理由を彼に聞いた.

- (200) muy taré xarɔn-án jiggéyóŋ.  
 1SG 3SG.ACC reason-DEF question.1SG.PRS.PRF  
 「私は彼にその理由をたずねた」

6-19-b 私はそのことを彼に話した.

- (201) a. muy e {bijóy-é/bijóy-án} taré xoyóŋ.  
 1SG this {topic-ADV/topic-DEF} 3SG.ACC say.1SG.PRS.PRF  
 「私はそのことを彼に言った」
- b. muy e bijóy(-án) ni=ney tar loy xodá xoyóŋ.  
 1SG this topic(-DEF) take.CVB=SEQ 3SG.GEN take.CVB word say.1SG.PRS.PRF  
 「私はそのことについて (直訳: そのことをとって) 彼と話をした」

6-20 【再帰・相互】

6-20-a 私は彼と会った.

- (202) a. muy tar loy de(g)á gojjóŋ.  
 1SG 3SG.GEN take.CVB see.VN do.1SG.PRS.PRF  
 「私は彼と会うことをした」

- b. mər ta(r)=sómáré dɛ(g)á óye.  
 1SG.GEN 3SG.GEN=together see.VN become.3SG.PRS.PRF  
 「私は彼と会った（直訳：会うことが生じた）」

7. 「連用修飾的複文」（語研論集 第 20 号）

7-1 彼はいつも新聞を読みながらご飯を食べる。【同時動作】

- (203) te nitto φεbár φor=té φor=té<sup>60</sup> bát xáy.  
 3SG always paper read=NMLS read=NMLS food 3SG.PRS  
 「彼はいつも新聞を読んで読んでご飯を食べる」

7-2 (私は) 昨日は九時に家に帰って、少しテレビを見て（から）、寝ました。【継起的動作・物語的連鎖】

- (204) (muy) gelle xelle no(y)-tay gór-ó-t φíri=ney ekkəna tibi  
 (1SG) gone one.day.from.today nine-o'clock house-EP-LOC return.CVB=SEQ a.little TV  
 se=ney gúm jeyóŋ.  
 watch.CVB=SEQ sleep(n) go.1SG.PRS.PRF  
 「(私は) 昨日九時に家にもどって、すこしテレビを見てから、寝にきました」

7-3 (私は) 昨日階段で転んで、ケガをしてしまった。【継起：理由】

- (205) (muy) gelle xelle síri-ttun φori(=ney) aódó óyoŋ.  
 (1SG) gone one.day.from.today staircase-ABL fall.CVB(=SEQ) hurt(n) become.1SG.PRS.PRF  
 「(私は) 昨日階段から倒れ（て）、ケガが生じた」

7-4 今日も父は会社に行つて、兄は大学に行つた。【異主語】

- (206) a. ecce=yó mɔ(r) babá(=i)<sup>61</sup> xumboní-t jeyé, ar mər bər  
 today=too 1SG.GEN father(=EMPF) company-LOC go.3SG.PRS.PRF and 1SG.GEN big  
 béy-bo ikkul-ɔ-t jeyé.  
 brother-DEF school-EP-LOC go.3SG.PRS.PRF  
 「今日も私の父は会社に行つた、そして私の兄は学校に行つた」
- b. ecce=yó mɔ(r) babá(=i) xumboní-t jana=y, mər bər  
 today=too 1SG.GEN father(=EMPF) company-LOC go.VN=because<sup>62</sup> 1SG.GEN big  
 béy-bo ikkul-ɔ-t jeyé.  
 brother-DEF school-EP-LOC go.3SG.PRS.PRF  
 「今日も私の父は会社に行つたから、私の兄は学校に行つた」

<sup>60</sup> チャクマ語では一般に高声調に高声調が後続して全体としては一音韻語となるとき、二番目の高声調は低声調で実現する傾向にある。したがって、この *φotté φotté* は、実際には *φotté φotte* と発音される傾向にある。同様に、*bát xáy* も *bát xay* と発音される傾向にある。

<sup>61</sup> *babá* はどちらかという子どもが使用する。大人は *baá* を使用する傾向にある。

<sup>62</sup> =y ‘=because’ はベンガル語の場所格の形式をかりているようにおもわれる。

- c. \*ecce=yó mɔ(r) babá(=i) xumbonít je=ney, mɔr bɔr  
 today=too 1SG.GEN father(=EMPF) company-LOC go.CV=SEQ 1SG.GEN big  
 béy-bo ikkul-ɔ-t jeyé.  
 brother-DEF school-EP-LOC go.3SG.PRS.PRF  
 「今日も私の父は会社に行って、私の兄は学校に行った」

(206-c) のように継起の表現をもちいて一文にすると、異主語の文は非文となる。異主語の文を表現するには、(206-a) のように二文で表現するか、(206-b) のように理由をあらわすかのように表現する。

ただし、前文の主語が自然現象のばあい、(207-a) のように動名詞の場所格をもちいた理由の表現でも、(207-b) のような継起の表現でも、異主語が可能である。

- (207) a. jór+boyer ejáná=y gac-có φojjé.  
 water+wind come.VN=because tree-DEF fall.3SG.PRS.PRF  
 「雨風が来たから、その木は倒れた」  
 b. jór+boyer e=néy gac-có φojjé.  
 water+wind come.CV=SEQ tree-DEF fall.3SG.PRS.PRF  
 「雨風が来て、その木は倒れた」

7-5 (あの人は) 今日帽子をかぶって歩いてた。【付帯状況】

- (208) (o manúc-có) eccé=dó tokke φorí=néy átte.  
 (that person-DEF) today=FOC hat wear.CV=SEQ walk.3.PRS.PRF  
 「(あの人は) 今日帽子を着て歩いてた (直訳: 歩いた)」

7-6 (私は) 休みの日にはいつも本を読んだり、テレビを見たりしています。【並行動作】

- (209) a. (muy) bɔndó+dín-ɔ-t nitto boóy φorí=néy tibi se=néy dín  
 (1SG) closed+day-EP-LOC always book read.CV=SEQ TV see.CV=SEQ day  
 xadaŋ.  
 pass.time.1SG.PRS  
 「(私は) 休みの日にはいつも本を読み、テレビを見て日をすごします」  
 b. (muy) bɔndó+dín-ɔ-t nitto boóy φoríŋ. tibi=ó sáŋ.  
 (1SG) closed+day-EP-LOC always book read.1SG.PRS TV=too see.1SG.PRS  
 「(私は) 休みの日にはいつも本を読みます、テレビも見ます」

7-7 時間がないから、急いで行こう。【理由・カラ】

- (210) a. sómóy nɔ-táná=y sóbóré jey.  
 time NEG-stay.VN=because quickly go.1PL.PRS  
 「時間がないので、(私たちは) 急いで行こう」

- b. sómóy no-táná-r            xarɔn-ε            sóbóre jey.  
 time NEG-stay.VN-GEN reason-ADV quickly go.1PL.PRS  
 「時間がない（という）理由で，（私たちは）急いで行こう」

7-8 昨日は頭が痛かったので，いつもより早く寝ました。【理由・ノデ】

- (211) a. gelle xelle            madá φire táná=y            nitto-ttún age gúm  
 gone one.day.from.today head pain stay.VN=because always-ABL before sleep(n)  
 jéyoŋ.  
 go.1SG.PRS.PRF  
 「昨日頭の痛みがあるので，常よりも前に寝に行きました」
- b. gelle xelle            madá φire táná-r            xarɔn-ε            nitto-ttún age  
 gone one.day.from.today head pain stay.VN-GEN reason-ADV always-ABL before  
 gúm jéyoŋ.  
 sleep(n) go.1SG.PRS.PRF  
 「昨日頭の痛みがあるという理由で，常よりも前に寝に行きました」

7-9 あの人は本を買いに行った。【趨向／移動の目的】

- (212) a. o manúc-có boóy xina jeyé.  
 that peron-DEF book buy.VN go.3SG.PRS.PRF  
 「あの人は本を買いに行った」
- b. o manúc-có boóy xini=bar=tey            jeyé.  
 that peron-DEF book buy.CVB=NMLS.GEN=PURP go.3SG.PRS.PRF  
 「あの人は本を買うために行った」

7-10 (彼は) 外がよく見えるように窓を開けた。【目的・意図】

- (213) (tε) baré gɔmedalé dε(g)á je=bar=tey            janala xúlle.  
 (3SG) outside well see.VN go.CVB=NMLS.GEN=PURP window open.3SG.PRS.PRF  
 「(彼は) 外がよく見える（直訳: 見えいく）ように窓を開けた」

7-11 ここでは夏になると，よく雨が降ります。【恒常的条件】

- (214) a. idú gɔrɔm+xal ó-lé            jór bec óy.  
 here hot+season become-COND rain(n) very become.3SG.PRS  
 「ここでは暑季になると，雨がひどくなります」
- b. idú gɔrɔm+xal-ɔ-t            jór bec óy.  
 here hot+season-EP-LOC rain(n) very become.3SG.PRS  
 「ここでは暑季に，雨がひどくなります」

7-12 窓を開けると，冷たい風が入って来た。【確定条件・生起】

- (215) a. janala xúlí=néy            tánda buyer bídiré eccé.  
 window open.CVB=SEQ cold wind inside come.3SG.PRS.PRF  
 「窓を開けて，冷たい風が中に来た」

- b. janala xúlá=y tánda buyer bídíré eccé.  
 window open.VN=because cold wind inside come.3SG.PRS.PRF  
 「窓を開けるので、冷たい風が中に来た」

7-13 坂を上ると、海が見えた。【確定条件・発見】

- (216) muró udí=néy sá(g)ór dɛ(g)á jeyé.  
 small.hill rise.CVB=SEQ sea see.VN go.3SG.PRS.PRF  
 「丘をあがると、海が見えた（直訳: 見えいった）」

7-14 明日雨が降ったら、私はそこに行かない。【仮定条件】

- (217) ɛjétté xelle jór ɛ-lé muy sídu nɔ-jem.  
 coming one.day.from.today rain(n) come-COND 1SG there NEG-go.1SG.FUT  
 「明日雨がくるならば、私はそこに行かない」

7-15 もっと早く起きればよかったなあ。【反実仮想】

- (218) a. aró age udídúŋ gɔm ólu(g)un.  
 more before rise.1SG.PST.HBT good become.1SG.CNTF  
 「私はもっと前に起きていればよかったのに」  
 b. aró age udí-lé gɔm ódó.  
 more before rise.CVB-COND good become.3SG.PST.HBT  
 「もっと前に起きればよかった」

(218-a) は従属節も主節も主語が一人称である。対応する人称によって動詞を変化させれば、二人称や三人称の例も可能となる。他方、(218-b) の従属節の主語の人称は明示されていない。

7-16 あんなところへ行かなければよかった。【反実仮想・前件否定】

- (219) a. o dókké jaga-t nɔ-jedun gɔm ólu(g)un.  
 that ESS place-LOC NEG-go.1SG.PST.HBT good become.1SG.CNTF  
 「私はあの種類の場所に行っていなければよかったのに」  
 b. o dókké jaga-t nɔ-jɛ-lé gɔm ódó.  
 that ESS place-LOC NEG-go-COND good become.3SG.PST.HBT  
 「あの種類の場所に行かなければよかった」

7-17 1に1を足せば、2になる。【一般的真理】

- (220) a. ɛk-ɛ ɛk-ɛ duy ýy.  
 one-LOC one-LOC two become.3SG.PRS  
 「1に1で2になる」<sup>63</sup>

<sup>63</sup> ちなみに「1かける1は1」に相当する表現は、「1に1で2になる」と非常によく類似しており、‘ɛk-ɛ ɛk-ɛ ɛk ýy’ (one-LOC one-LOC one become.3SG.PRS) という。

- b. ek ar ek juk gor-lé duy óy.  
 one and one addition do-COND two become.3SG.PRS  
 「1と1をくわえるならば，2になる」
- c. ek ar ek juk gorí-lé duy óy.  
 one and one addition do.CVB-COND two become.3SG.PRS  
 「1と1をくわえるならば，2になる」

(220-a) はベンガル語の影響をうけた慣用的表現であり語呂がよい。条件分詞をもちいて(220-b)のようによいのも分析的でわかりやすい。条件分詞は(220-c)のように表現することも可能であり，(220-b)よりも丁寧であるという。

7-18 駅に着いたら電話をしてください。【仮定条件+働きかけのモダリティ】

- (221) ettésón-ó-t lúmí-le fón goríc.  
 station-EP-LOC arrive.CVB-COND phone do.2SG.FUT.IMP  
 「駅に着いたら電話してください」

7-19 日曜日になったら，みんなで公園に行きたいなあ。【仮定条件+願望】

- (222) a. robibar-e bekkún-ó-r=sómáré (muy) fark-ó-t je=bar  
 Sunday-ADV everyone-EP-GEN=together (1SG) park-EP-LOC go.CVB=NMLS.GEN  
 sáj.  
 want.1SG.PRS  
 「(次の) 日曜日にみんなと (私は) 公園に行きたい」
- b. robibar-ó-t bekkún-ó-r=sómáré (muy) fark-ót je=bar  
 Sunday-EP-LOC everyone-EP-GEN=together (1SG) park-LOC go.CVB=NMLS.GEN  
 sáj.  
 want.1SG.PRS  
 「日曜日にみんなと (私は) 公園に行きたい」
- c. robibar e-lé bekkún-ó-r=sómáré (muy) fark-ó-t  
 Sunday come-COND everyone-EP-GEN=together (1SG) park-EP-LOC  
 je=bar sáj.  
 go.CVB=NMLS.GEN want.1SG.PRS  
 「(次の) 日曜日が来たら，みんなと (私は) 公園に行きたい」

(222-a) と(222-c) の「日曜日」は，特に「次の日曜日」を含意する。他方，(222-b) は「不特定の日曜日」を含意する。

7-20 明日雨が降ったら困るなあ。【心配】

- (223) ejétté xelle jór ó-lé ó-súbide óbó.  
 coming one.day.from.today rain become-COND NEG.PFX-convenient become.3SG.FUT  
 「明日雨になれば，不都合になる」

7-21 家に来るなら、電話をしてから来てください。【時間的前後関係に則していないナラ条件文】

- (224) gór-ó-t      ε-lé      φón gori      éc.  
 house-EP-LOC come-COND phone do.CVB come.2SG.FUT.IMP  
 「家に来るなら、電話してから来てください」<sup>64</sup>

7-22 (もうすぐベルが鳴るので) 鳴ったら、教えてください。【予想を伴った条件文】

- (225) góndá baji-le      janec.  
 gong ring.CVB-COND know.CAUS.2SG.FUT.IMP  
 「鐘が鳴れば、知らせてください」

7-23 (もしかしたらベルが鳴るかもしれないので) もし鳴ったら、教えてください。【予想を伴わない条件文】

- (226) a. góndá baji-le      janec.  
 gong ring.CVB-COND know.CAUS.2SG.FUT.IMP  
 「鐘が鳴れば、知らせてください」  
 b. góndá baji=bar      ó-lé      janec.  
 gong ring.CVB=NMLS.GEN become-COND know.CAUS.2SG.FUT.IMP  
 「鐘が鳴ることになれば、知らせてください」

(226-a) は (225) とおなじであり、両者は区別されない。(226-b) は、「実際には鳴るかどうかはわからないけれども鳴ることが決まったらおしえてください」という含意がある。

7-24 働かざるもの食うべからず。／働かない者は、食べるべきではない。【相関構文】

- (227) jará      xam      nɔ-gorón      tará-r      háná nijéd.<sup>65</sup>  
 those.who work(n) NEG-do.3PL.PRS 3PL-GEN eat.VN prohibited  
 「仕事をしない人たち、その人たちの食べることは禁止だ」

7-25 もう少しお金があったらなあ。【言いさし・願望】

- (228) a. aró      te(ŋ)a      té-lé.  
 more money stay-COND  
 「もっとお金があれば」  
 b. jodi aró      te(ŋ)a      té-dó.  
 if more money stay.3SG.PST.HBT  
 「もしもっとお金があったら」

<sup>64</sup> 命令文において丁寧さをあらわすには、文頭あるいは文末に相手への敬称を付加する。たとえば、一般に目上の人ならば *sár* 'Sir', 年長の男性なら *da*, 年長の女性なら *di* などを付加する。

<sup>65</sup> *nijéd* の語末で有声阻害音がきているのは、チャクマ語としては破格である。これは、ベンガル語からの借用語であるからである。

7-26 これも食べたら？【言いさし・提案】

- (229) i-yán=ó h́é-lé?<sup>66</sup>  
 this-DEF=too eat-COND  
 「これも食べれば？」

7-27 (やりたいなら自分の)好きなようにやれば？【言いさし・つき放し】

- (230) a. nij-ɔ(-r) dókké gorí-lé?  
 self-EP(-GEN) ESS do.CVB-COND  
 「自分のようにすれば？」
- b. nij-ɔ(-r) iccé(-r) {dókké/mɔtɔ} gorí-lé?  
 self-EP(-GEN) wish(n)(-GEN) {ESS/ESS} do.CVB-COND  
 「自分のしたいようにすれば？」

(230-a) と比較すると(230-b) のほうが丁寧である。(230-b) で *dókké* はチャクマ語の本来語であり，*mɔtɔ* はベンガル語の *mɔtô* がチャクマ語化したものである。<sup>67</sup>

7-28 このコップは落としても割れない。【仮定的な逆接】

- (231) e gɔlɔc-có φorí-lé=ó nɔ-báŋé.  
 this glass-DEF fall.CVB-COND=too NEG-break.3SG.PRS  
 「このグラスは落ちてでも壊れない」

7-29 このリンゴは高かったのに，ちっとも甘くない。【アクチュアルな逆接】

- (232) a. e abél-ló damí ɔ-lé=o ɛkka=ó midé ney.  
 this apple-DEF expensive become-COND=too little=too sweetness exist.NEG.PRS  
 「このリンゴは高いのに，まったく甘さがない」
- b. e abél-ló damí ɔ-lé=o ɛkka=ó midé nɔy.  
 this apple-DEF expensive become-COND=too little=too sweetness be.NEG.PRS  
 「このリンゴは高いのに，まったく甘くない」

7-30 彼の家に行ってみたけれども，彼はいなかった。【逆接 3】

- (233) ta(r) gór-ɔ-t je=ney=ó tɛ nɔ-ɛlɔ.<sup>68</sup>  
 3SG.GEN house-EP-LOC go.CVB=SEQ=too 3SG NEG-come.3SG.PST  
 「彼(女)の家に行けども，彼(女)はいなかった」

<sup>66</sup> (229) では *gom nɔy* ‘good be.NEG.PRS’ が省略されている。省略しないほうが普通である。

<sup>67</sup> 藤原 (2022) ではベンガル語で 7-27 に相当する表現がおもいつかなかった。しかし，次のようにいいうる。  
*nij-e-r (iccha-r) mɔtô kôrle?* (self-EP-GEN (wish(n)-GEN) ESS do.PTCP.COND) 「自分の(したい)ようにしたら？」

<sup>68</sup> *ɛlɔ* は本来的には ‘come.3SG.PST’ である。しかし，補充法として，存在動詞の過去形としてももちいられる。

7-31 あの人が来るまで、私はここで待っています。【時間的期限 [1]】

- (234) a. tɛ ɛjána=sóŋ muy i-yó-t baccé(y) tém.  
 3SG come.VN=until 1SG this-EP-LOC wait.CVB stay.1SG.FUT  
 「その人がくるまでは、私はここで待ちます」
- b. tɛ nɔ-ɛjána=sóŋ muy i-yó-t baccé(y) tém.  
 3SG NEG-come.VN=until 1SG this-EP-LOC wait.CVB stay.1SG.FUT  
 「その人がこないまでは、私はここで待ちます」

(234-a) も(234-b) も同義である。

7-32 あの人が来るまでに、食事を作っておきますよ。【時間的期限 [2]】

- (235) a. tɛ ɛjána(-r)=age (muy) raní tóm.  
 3SG come.VN(-GEN)=before (1SG) cook.CVB put.1SG.FUT  
 「その人がくる前に (私は) 料理をしておきます」
- b. tɛ nɔ-ɛjána(-r)=age (muy) raní tóm.  
 3SG NEG-come.VN(-GEN)=before (1SG) cook.CVB put.1SG.FUT  
 「その人がこない前に (私は) 料理をしておきます」

8. 「情報構造と名詞述語文」(語研論集 第 21 号)

8-1 えっ、A (固有名詞) が来たの? / いや、A じゃなくて B が来たんだ。【对比焦点 (主語)】

- (236) a. ɔ... mina eccé=té?  
 INTJ PSN come.3SG.PRS.PRF=NMLS  
 「おー、ミナが来たの?」
- b. ná, mina nóy, raju (eccé=té).  
 no PSN be.NEG.PRS PSN (come.3SG.PRS.PRF=NMLS)  
 「いや、ミナではない、ラジュ (が来たんだ)」

8-2 誰が来たの? / A が来たよ。【WH 焦点 (主語)・WH 応答焦点 (主語)】

- (237) a. xɔnná eccé(=té)?  
 who come.3SG.PRS.PRF(=NMLS)  
 「誰が来た (の) ?」
- b. mina (eccé=té).  
 PSN (come.3.PRS.PRF=NMLS)  
 「ミナ (が来たんだ)」

8-3 A のほうが大きいんじゃないの? / いや、A じゃなくて、B のほうが大きいんだよ。【YesNo 疑問・形容詞述語応答焦点】

- (238) a. mina(=i) bæc ɔjɔr, nóné?  
 PSN(=EMPF) too.much high PQ.NEG  
 「ミナがより (背が) 高いんじゃない?」

- b. ná, mina nóy.          raju(=i)      bec      ojør.  
 no PSN be.NEG.PRS PSN(=EMPF) too.much high  
 「いや，ミナではない．ラジュがより（背が）高い」

8-4（電話で）どうしたの？／うん，今，お客さんが来たんだ。【文焦点（自動詞文）】

- (239) a. xi    ól(=tɛ)?  
 what become.3SG.PST(=NMLS)  
 「何がおきた（の）？」
- b. ikkíné    gɔrba {él(=tɛ)/élák(=ké)}.  
 just.now guset {come.3SG.PST(=NMLS)/come.3PL.PST(=NMLS)}  
 「たった今お客さんが来たんです」
- c. ikkíné    gɔrba {eccé(=tɛ)/eccón(=tɛ)}.  
 just.now guset {come.3SG.PRS.PRF(=NMLS)/come.3PL.PRS.PRF(=NMLS)}  
 「たった今お客さんが来たんです」

(239-a)のように質問文が過去形であるなら，(239-b)のように過去形で回答するのが普通である。ただし，(239-c)のように，現在完了形で回答することもできる。また，どちらのばあいでも「お客さん」が単数か複数かによって，動詞の語形が変化する。なお，名詞化標識があるほうが丁寧ないいかたである。そして，疑問文に名詞化標識があれば，回答でも名詞化標識をいれる傾向にある。

8-5 あの子供がAを叩いたんだって!？／いや，Aじゃなくて，Bを叩いたんだよ。【対比焦点（目的語）】

- (240) a. o    guro-bó    mina-ré    majjé,          ná xi?  
 that child-DEF PSN-ACC hit.3SG.PRS.PRF not PQ  
 「あの子供がミナを叩いたんじゃないのか？」
- b. ná, mina(-ré) nóy,          raju-ré(=í)          majjé=tɛ.  
 na PSN(-ACC) be.NEG.PRS PSN-ACC(=EMPF) hit.3SG.PRS.PRF=NMLS  
 「いや，ミナ（を）ではない，ラジュを（こそ）叩いたんだ」

8-6 赤い袋と青い袋があるけど，どっちを買うの？／（私は）青い袋を買うよ。【対比焦点（目的語，特に「どっち」という対比的な疑問語の場合）】

- (241) a. raɲa tóllé ar    él    tóllé agé.          xubó          xinibe  
 red bag and blue bag exist.3SG.PRS which.DEF buy.2SG.FUT  
 「赤い袋と青い袋がある．どちらをかりますか」
- b. él    tóllé-bo    xinim.  
 blue bag-DEF buy.1SG.FUT  
 「その青い袋をかります」

8-7 Aはどこですか？ / Aは朝からどっかへでかけたよ。【述語焦点】（例えば，朝少し遅く起きて来たAの父親が，姿の見えないAについて母親に尋ねている場面で）

- (242) a. mina xudú?  
 PSN where  
 「ミナはどこ？」
- b. mina=dó benné-ttún dóri xudú=ó jeyé.  
 PSN=FOC morning-ABL hold.CVB where=too go.3SG.PRS.PRF  
 「ミナは朝からどこかに<sup>69</sup>行った」
- c. mina=dó benné-ttún dóri xudú(=ó) na=xi jeyé.  
 PSN=FOC morning-ABL hold.CVB where(=too) not=PQ go.3SG.PRS.PRF  
 「ミナは朝からどこかに行った」

8-8 （あの子供は）誰を叩いたの？ / （あの子供は）自分の弟を叩いたんだ。【WH 焦点（目的語）・WH 応答焦点（目的語）】

- (243) a. (o guro-bó) xaré marilo=ɬɛ?  
 (that child-DEF) who.ACC hit.3SG.PST=NMLS  
 「(あの子供は) 誰を叩いたの？」
- b. (o guro-bó) nij-ɔ-r siyon béy-ɔ-rɛ marilo=ɬɛ.  
 (that child-DEF) own-EP-GEN small brother-EP-ACC hit.3SG.PST=NMLS  
 「(あの子供は) 自分の弟を叩いたんだ」

「自分の弟」が複数人いたとして，どの弟であるかについて言及しないのであれば，(243-b)のように *béy-ɔ-rɛ* といいうる。しかし，どの弟であるか特定されているならば，*bé(y)-bo-rɛ* ‘brother-DEF-ACC’ という。

8-9 （電話で）どうしたの？ / うん，Aが（自分の）弟を叩いたんだ。【文焦点（他動詞文）】（例えば，電話の向こうで子供の泣き声がかきたのを聞いての発話）

- (244) a. xi ólɔ=ɬɛ?  
 what become.3SG.PST=NMLS  
 「何がおきたの？」
- b. mina (tar nij-ɔ-r) siyon béy-ɔ-rɛ marilo=ɬɛ.  
 PSN (3SG.GEN own-EP-GEN) small brother-EP-ACC hit.3SG.PST=NMLS  
 「ミナが（彼女自身の）弟を叩いたんだ」

<sup>69</sup> 「どこかに」は，(242-b)のように *xudú=ó*と表現できる。ただし，(242-c)のように *na=xi* をいれると，*xudú=ó*でも *xudú*でもよい。

8-10 あのケーキ，どうした？ / (ああ，あれは) A が食べちゃったよ。【目的語主題化，主題（目的語）の継続性 いわゆる pro-drop 言語の可能性】

- (245) a. xɛk-kó(-r) xi óye?  
 cake-DEF(-GEN) what become.3SG.PRS.PRF  
 「そのケーキに何がおきた？」
- b. (se xɛk-kó) mina héye.  
 (that cake-DEF) PSN eat.3SG.PRS.PRF  
 「(そのケーキは) ミナが食べた」

8-11 私が昨日お店から買って来たのはこの本だ。【分裂文】

- (246) ibé se boóy jibé muy gelle xelle dɔ(g)an-ɔ-ttún xinn(y)óŋ.  
 this that book thing.which.DEF 1SG gone one.day.from.today shop-EP-ABL buy.1SG.PRS.PRF  
 「この本は，私が昨日店から買った本だ（直訳：これはその本，それを私が昨日店から買った<sup>70</sup>）」

8-12 あの人は先生だ。この学校でもう 20 年働いている。【措定文 主題（名詞述語文の主語）の継続性 いわゆる pro-drop 言語の可能性】

- (247) o manúc-có=dɔ mactɔr. e ikkul-ɔ-t huri bojór dórí xam  
 that person-DEF=FOC teacher this school-EP-LOC twenty year hold.CVB work(n)  
 gɔréɛ.  
 do.3SG.PRS.PROG  
 「あの人は先生だ。この学校で 20 年にわたり仕事をしている」

8-13 彼のお父さんは，あの人だ。【倒置同定文】

- (248) a. ta(r) bap óy=té se manúc-có.  
 3SG.GEN father become.3SG.PRS=NMLS that person-DEF  
 「彼（女）のお父さんであるのは，あの人だ」
- b. ta(r) bap-pó se manúc-có.  
 3SG.GEN father-DEF that person-DEF  
 「彼（女）のお父さんは，あの人だ」

(248-a)の方がチャクマ語としては自然である。

8-14 あの人が彼のお父さんだ。【同定文】

- (249) se manúc-có ta(r) bap.<sup>71</sup>  
 that person-DEF 3SG.GEN father  
 「あの人こそが彼（女）のお父さんだ」

<sup>70</sup> いわゆる相関関係文で表現している。

<sup>71</sup> (248-b)は定辞の-póがないと不自然である一方，(249)は定辞をつけてしまうと，不自然であるという。

8-15 あさってっていうのはね、明日の次の日のことだよ。【定義文】

- (250) a. ejétté φojjú(+dín) {ottát/mané} ejétté xelle-r  
 coming two.days.from.today(+day) {namely/namely} coming one.day.from.today-GEN  
 φor-ɔ-r dín.  
 after-EP-GEN day  
 「あさってとは、つまり、明日の後の日である」
- b. ejétté φojjú(+dín)  
 coming two.days.from.today(+day)  
 {óló=té/ór=té} ejétté  
 {become.3SG.PST=NMLS/become.3SG.PRS.PROG=NMLS} coming  
 xelle-r φor-ɔ-r dín.  
 one.day.from.today-GEN after-EP-GEN day  
 「あさってというのは、明日の後の日になる」

8-16 (何人かが入った喫茶店で注文を聞かれて) 私はコーヒーだ。【ウナギ文】

- (251) muy xobí.  
 1SG coffee  
 「私はコーヒーだ」

8-17 [(注文した数人分のお茶が運ばれてきて) どなたがコーヒーですか? との問いに] コーヒーは私だ。【逆行ウナギ文】

- (252) xobí muy.  
 coffee 1SG  
 「コーヒーは私だ」

8-18 その新しくて厚い本は(値段が)高い。【形容詞述語文 修飾・並列・述語】

- (253) a. se nuo (ar)<sup>72</sup> dado boóy-bó dami.  
 that new (and) thick book-DEF expensive  
 「その新しく(そして)厚い本は高価だ」
- b. se nuo (ar) dado boóy-bó dam bæc.  
 that new (and) thick book-DEF value very  
 「その新しく(そして)厚い本は値段がひどい」

<sup>72</sup> ar 「そして」はいわないのが普通である。「新しい」と「厚い」は、どちらが先でもかまわない。

8-19 (砂糖入れを開けて) あっ，砂糖が無くなっているよ！【意外性 (mirativity)】

- (254) ɪ!<sup>73</sup> siní=dó ney!  
 INTJ suger=FOC NEG.exist  
 「あれ！砂糖がない！」

8-20 午後，誰かに会うはずだったなあ。誰だったっけ？ あっ，そうだ，～君だったな。【思い出し】

- (255) belle xar-ó=sómáré dɛgá gorá(-r) xɔdá eló. tɛ xɔnná  
 afternoon someone.GEN-EP=with see.VN do.VN(-GEN) word exist.3SG.PST 3SG who  
 óló? ɔ, rajú=í=dɔ.  
 become.3SG.PST INTJ PSN=EMPF=FOC  
 「午後，誰かと会う話があった。それは誰だったか。あ，ラジュだよね」

9. 「情報標示の諸要素」(語研論集 第 22 号)

9-1 この土地は野菜がよく育つ。だから高い値段で売れるだろう。【統語的に動詞の必須項ではない名詞の統語的軸項としての機能】

- (256) e xét-tan-ɔ-t sák-pát gɔm φólé. sénóddey gɔm  
 this land-DEF-EP-LOC vegetable-ELAB good bear.fruit.3SG.PRS therefore good  
 {dam-ɛ/dam di=ney} beja óbó.  
 {value-ADV/value give.CVB=SEQ} selling become.3SG.FUT  
 「この土地で野菜がよくとれる。だから，よい値で売れるだろう」

9-2 私は頭が痛い。だから今日は休む。【話し手のなわ張り内・聞き手のなわ張り外，統語的軸項としての機能】

- (257) mɔr madá φire gɔré. sénóddey ecce súdí nim.  
 1SG.GEN head pain do.3SG.PRS therefore today holiday take.1SG.FUT  
 「私の頭が痛い。だから今日は休みをとる」

9-3 あの人だけ，時間通りに来た。【限定】

- (258) bana tɛ=í sómóy=mɔdɔ eccé.  
 only 3SG=EMPF time=ESS come.3SG.PRS.PRF  
 「その人だけが時間通りに来た」

9-4 これはここでしか買えない。【限定・否定との共起】

- (259) a. ibé idú=sará xina nɔ-jay.  
 this here=except.for buy.VN NEG-go.3SG.PRS  
 「これはここ以外では買えない」

<sup>73</sup> ɪは上昇調のイントネーションをともなってきた。

- b. ibé bana idú xina jay.  
 this only here buy.VN go.3SG.PRS  
 「これはここだけで買える」

9-5 その家にいたのは子供ばかりだった。【限定・多数】

- (260) se gór-an-ɔ-t bana guro elák.<sup>74</sup>  
 that house-DEF-EP-LOC only child exist.3PL.PST  
 「その家には子供たちだけがいた」

9-6 次回こそ、失敗しないようにしよう。【限定・強調】

- (261) ejétté bar-ɔ-t (jenó) búl nɔ-óy=ɸara setta gorí.  
 coming time-EP-LOC (so.that) mistake NEG-become.3SG.PRS=in.order.to effort do.1PL.PRS  
 「次回だけは失敗しないようにしよう」

9-7 疲れたね、お茶でも飲もう。【反限定・例示】

- (262) bɔl ɸojjé=dɔ. jey, sa-ta xéy-óy.  
 power fall.3SG.PRS.PRF=SFP go.1PL.PRS tea-ELAB eat.1PL.PRS-ANDV  
 「疲れたね（直訳: 力が落ちたね）。いこう、お茶とか飲みにいこう」

9-8 水さえあれば、数日間は大丈夫だ。【極端・意外】

- (263) bana ɸaní téle=i hijú din-ɔ-r=dey tík agé.  
 only water stay.COND=EMPF some day-EP-GEN=for correct exist.3SG.PRS  
 「水だけがありさえすれば、数日間は大丈夫だ」

9-9 小さい子供まで、その仕事の手伝いをさせられた。【極端・意外】

- (264) a. siyon guro=ó e xam-ɔ-r=dey bɔl dɛna ɸojjé.  
 small child=too this work(n)-EP-GEN=for power give.VN fall.3SG.PRS.PRF  
 「小さい子供もこの仕事のために力を与えることになった（直訳: 力を与えることにおちいった）」
- b. siyon guro-ttún=ó e xam-ɔ-r=dey bɔl dɛna óye.  
 small child-ABL=too this work(n)-EP-GEN=for power give.VN happen.3SG.PRS.PRF  
 「小さい子供からもこの仕事のために力を与えることになった（直訳: 小さい子供からもこの仕事のために力を与えることが生じた）」
- c. siyon guro-ré=ó e xam-ɔ-r=dey bɔl dɛna óye.  
 small child-ACC=too this work(n)-EP-GEN=for power give.VN happen.3SG.PRS.PRF  
 「小さい子供もこの仕事のために力を与えざるをえなかった（直訳: 小さい子供にとってもこの仕事のために力を与えることが生じた）」<sup>75</sup>

<sup>74</sup> 子供が何人いたのか不明であるような場合には、動詞述語は三人称複数をもちいる。

<sup>75</sup> 「小さい子供のために、この仕事のために力を与えることが生じた」という解釈もありうる。

9-10 私はお金なんか欲しくない。【反極端・低評価】

- (265) a. muy teŋa-φoyjé<sup>76</sup> no-sáj.  
 1SG money-penny NEG-want.1SG.PRS  
 「私はお金とか欲しくない」
- b. mər teŋa-φoyjé-r dərɣar ney.  
 1SG.GEN money-penny-GEN need NEG.exist  
 「私にはお金とかの必要がない」

9-11 自分の部屋ぐらい，自分できれいにしなさい。【反極端・最低限】

- (266) nij-ɔ(-r) gər-an ó-lé nije xaɟa.  
 own-EP(-GEN) room-DEF become-COND by.oneself clean.2SG.PRS.IMP  
 「自分の部屋ならば自分できれいにしなさい」

9-12 私にもちょうだい。【類似・累加】

- (267) mərə=ó de.  
 1SG.ACC=too give.2SG.PRS.IMP  
 「私にもあたえなさい」

9-13 お父さんもう帰って来たね。お母さんは？【反類似・対比（疑問）】

- (268) ba=dó φírí eccé. ma?  
 father=FOC return.CVB come.3SG.PRS.PRF mother  
 「お父さんはもどって来た。お母さん（は）？」<sup>77</sup>

9-14 誰か（が）電話してきたよ。【特定未知（specific unknown）】

- (269) a. {xa-ttún/xéó-ttún} xi jeni<sup>78</sup> φón eccé.  
 {who-ABL/someone-ABL} what know.CVB phone come.3SG.PRS.PRF  
 「誰かからか知らないが電話がきた」
- b. {xa-ttún/xéó-ttún} jani φón eccé.  
 {who-ABL/someone-ABL} know.1PL.PRS phone come.3SG.PRS.PRF  
 「誰かからか（私たちは）知らないが<sup>79</sup>電話がきた」

<sup>76</sup> 「なんか」あるいは「とか」に該当する表現として，本稿では当該の名詞（ここでは「お金」）を反響語にした。反響語にすると「～に類するもの」という意味が生じる。

<sup>77</sup> 「お母さん（は）」の部分は，「お父さん」と対比して「お母さん」ときいているのではなく，「お母さん」に対して呼びかけて質問しているように解釈される可能性もある。

<sup>78</sup> (269-a) の *xi jeni* ‘what know.CVB’ は慣用表現であり，反語的に「何を知るか（意識：何かは知らない）」という意味である。また，*jeni* ‘know.CVB’ は不規則な形式である。(269-b) の *jani* ‘know.1PL.PRS’ のほうが規則的な形式である。

<sup>79</sup> 日本語では否定で「知らない」となるけれども，チャクマ語としては肯定の *jani* ‘know.1PL.PRS’ となっている。これは慣用表現である。

- c. {xa-ttún/xeó-ttún}            φόν   eccé.  
 {who-ABL/someone-ABL} phone come.3SG.PRS.PRF  
 「誰かから電話がきた」

9-15 誰かに聞いてみよう。【非現実不特定 (irrealis non-specific)】

- (270) a. {xa-r-ó-ré/xa-r-ó-ttún}            bijér   gorí.  
 {who-GEN-EP-ACC/who-GEN-EP-ABL} question do.1PL.PRS  
 「{誰かに/誰かから}質問しよう」  
 b. {xeó-ré/xeó-ttún}                    bijér   gorí.  
 {someone-ACC/someone-ABL} question do.1PL.PRS  
 「{誰かに/誰かから}質問しよう」

9-16 私のいない間に誰か来た？【疑問 (question)】

- (271)   muy nɔ-táná       sómóy-ó-t   xeó       eccé?<sup>80</sup>  
 1SG NEG-stay.VN time-EP-LOC someone come.3SG.PRS.PRF  
 「私がいないうちに誰か来ましたか」

9-17 誰か来たら、私に教えてください。【条件節内 (conditional)】

- (272)   xeó       ɛ-lé            mɔré    janec.  
 someone come-COND 1SG.ACC know.CAUS.2SG.FUT.IMP  
 「誰か来れば、私に知らせなさい」

9-18 今日は誰も来るとは思わない。／今日は誰も来ないと思う。【間接 (全部) 否定 (indirect negation)】

- (273)   mɔr       mɔne       óy                    ecce aró   xeó       nɔ-ɛbák.  
 1SG.GEN heart.LOC become.3SG.PRS today more someone NEG-come.3PL.FUT  
 「私の思うには (直訳: 私の心に生じるところでは) 今日はもう誰もこない」

9-19 そこには今誰もいないよ。【直接 (全部) 否定 (direct negation)】

- (274)   sí-yɔ-t       ikkú xeó-jɔn                    {ney=dó/ney=ó<sup>81</sup> }.  
 that-EP-LOC now someone-CLF:person {NEG.exist=FOC/NEG.exist=SFP}  
 「そこに今誰もいないよ」

<sup>80</sup> 疑問文にするためには、文末に上昇調のイントネーションが必要である。それがなければ、「誰かが来た」という平叙文となる。

<sup>81</sup> =ó ‘=SFP’ は、=ó ‘too’ と同音である。同音異義語であるのか、本来的には同義語であるのかは、不明である。

9-20 (それは) 誰でもできる. 【自由選択 (free-choice)】

- (275) (sí-yan) jɛ xeó φare.  
 (that-DEF) the.one.who someone can.3SG.PRS  
 「(それは) どんな誰かでもできる」

9-21 そんなこと (は), みんな知っているんじゃないか!? 【自由選択を示す「みんな」】

- (276) a. i-yán bɛk-kún-é janɔn(=tɛ), nó-né?  
 this-DEF all-PL-AGT know.3PL.PRS(=NMLS) NEG-SFP  
 「それはみんなが知ってる (ん) じゃない?」  
 b. i-yán jɛ xeó janɔn(=tɛ),<sup>82</sup> nó-né?  
 this-DEF the.one.who someone know.3PL.PRS(=NMLS) NEG-SFP  
 「それは誰でも知ってる (ん) じゃない?」

9-22 そんなもの, 誰が買うんだよ!? 誰も買うわけじゃないか! 【反語】

- (277) e dókké jiníc xɔnná xinibo? xeó<sup>83</sup> nɔ-xinibak!  
 this ESS thing who buy.3SG.FUT someone NEG-buy.3PL.FUT  
 「このようなものを誰が買うか? 誰も買わないだろう」

9-23 君は英語がうまいね. 【話し手のなわ張り内・聞き手のなわ張り内】

- (278) a. tuy iɣgereji-t gɔm=ó.  
 2SG English-LOC good=SFP  
 「君は英語においてよいね」  
 b. tɔr iɣgereji gɔm=ó.  
 2SG.GEN English-LOC good=SFP  
 「君の英語はよいね」

9-24 君は退屈そうだね. 【話し手のなわ張り外・聞き手のなわ張り内】

- (279) tɔré birɔtto dɛ(g)ár.  
 2SG.ACC annoying see.CAUS.3SG.PRS.PROG  
 「君を (何かが) 煩わしく見せている」

9-25 明日も寒いらしいよ. 【話し手のなわ張り外・聞き手のなわ張り外】

- (280) xelle=ó jar óbó, bɛɛ.  
 tomorrow=too cold become.3SG.FUT EV  
 「明日も寒くなるらしい」

<sup>82</sup> ここで三人称単数主語の活用で *jane* ‘know.3SG.PRS’ とするのは不自然であるという。

<sup>83</sup> *xɔnná* ‘who’ は単数あつかいである。他方, *xeó* ‘someone’ は, 一般的には, 複数あつかいである。

10. 「否定, 形容詞と連体修飾複文」(語研論集 第 23 号)

10-1 これは私の本ではない。【名詞述語文／コピュラ文の否定】

- (281) a. *ibé mər boóy nɔy.*<sup>84</sup>  
 this 1SG.GEN book be.NEG.PRS  
 「これは私の本ではない」
- b. *e boóy-bó mər nɔy.*  
 this book-DEF 1SG.GEN be.NEG.PRS  
 「この本は私のではない」

10-2 この部屋には椅子がない。【存在文の否定】

- (282) *e rum-ɔ-t seár ney.*<sup>85</sup>  
 this room-EP-LOC chair NEG.exist  
 「この部屋に椅子がない」

10-3 この部屋には一つも椅子がない。【全部否定・モノ】

- (283) a. *e rum-ɔ-t honó seár ney.*  
 this room-EP-LOC any chair NEG.exist  
 「この部屋には何の椅子もない」
- b. *e rum-ɔ-t ek-kán=ó seár ney.*  
 this room-EP-LOC one-CLF=too chair NEG.exist  
 「この部屋には一つも椅子がない」
- c. *e rum-ɔ-t seár ek-kán=ó ney.*  
 this room-EP-LOC chair one-CLF=too NEG.exist  
 「この部屋には椅子が一つもない」

10-4 その部屋には誰もいない。【全部否定・ヒト】

- (284) a. *e rum-ɔ-t {xeó/xió} ney.*  
 this room-LOC {someone/someone} NEG.exist  
 「この部屋には誰もいない」
- b. *e rum-ɔ-t ek-jɔn=ó ney.*  
 this room-EP-LOC one-CLF:person-too NEG.exist  
 「この部屋には一人もいない」

<sup>84</sup> コピュラの否定は主語の人称によって語形変化しない。ただし、高アクセントのあとでは低アクセントであられる。

<sup>85</sup> 存在動詞の否定は、ベンガル語と同様に、*ney* という特別な形式をしている。

10-5 その本はこの部屋にない。【所在文の否定】

- (285) boóy-bó e rum-ɔ-t ney.  
book-DEF this room-EP-LOC NEG.exist  
「その本はこの部屋にない」

10-6 この犬は大きくない。【形容詞文の否定】

- (286) e xu(g)ur-bó da(ŋ)ór nɔy.  
this dog-DEF big be.NEG.PRS  
「この犬は大きくない」

10-7 この犬はあまり大きくない。【形容詞文の部分否定】

- (287) e xu(g)ur-bó {séddur/sédɔk} da(ŋ)ór nɔy.  
this dog-DEF {so.much/so.much} big be.NEG.PRS  
「この犬はそれほど大きくない」

10-8 この犬はあの犬より大きい。【比較級】

- (288) e xu(g)ur-bó o xu(g)ur-bó-ttún da(ŋ)ór.  
this dog-DEF that dog-DEF-ABL big  
「この犬はあの犬より大きい」

10-9 この犬がその犬たちの中で一番大きい。【最上級】

- (289) a. e xu(g)ur-bó o xu(g)ur-ún-ɔ-ttún bɛ(k)ɔ da(ŋ)ór.  
this dog-DEF that dog-PL-EP-ABL most big  
「この犬はあの犬たちより最も大きい」  
b. e xu(g)ur-bó bɛk-ɔ-ttún da(ŋ)ór.  
this dog-DEF all-EP-ABL big  
「この犬はすべてのものよりも大きい」

10-10 今日はあの人は来ない。【自動詞文の否定】

- (290) ecce tɛ nɔ-ebó.  
today 3SG NEG-come.3SG.FUT  
「今日その方は来ない」

10-11 あの人はその本を持って行かなかった。【他動詞文の否定】

- (291) tɛ sé boóy-bó nó-néjáy.  
3SG that book-DEF NEG.PRF-NEG.carry.3SG.PRS.PRF  
「彼はその本を持っていかなかった」

10-12 全ての学生が参加しなかった。／学生は全員参加しなかった。【数量の全部否定】

- (292) a. {bək/\*bək-kún} sátró-sátrí-un(-ε) jok nó-dón.  
 {all/\*all-PL} student-student.F-PL(-AGT) part NEG.PRF-NEG.give.3PL.PRS.PRF  
 「すべての学生たちが参加しなかった」
- b. {\*bək/\*bək-kún} sátró-sátrí(-yε) jok nó-dón.  
 {\*all/\*all-PL} student-student.F(-AGT) part NEG.PRF-NEG.give.3PL.PRS.PRF  
 「\*すべての学生たちが参加しなかった」
- c. sátró-sátrí(-un) bək-kún(-é) jok nó-dón.  
 student-student.F(-PL) all-PL(-AGT) part NEG.PRF-NEG.give.3PL.PRS.PRF  
 「学生たちは全員参加しなかった」
- d. sátró-sátrí-un-ε bək-kún(\*-é) jok nó-dón.  
 student-student.F-PL-AGT all-PL(\*-AGT) part NEG.PRF-NEG.give.3PL.PRS.PRF  
 「学生たちは全員参加しなかった」
- e. sátró-sátrí-un(-ε) {xeó/εk-jɔn=ó} jok  
 student-student.F-PL(-AGT) {someone/one-CLF:person=too} part  
 nó-dón.  
 NEG.PRF-NEG.give.3PL.PRS.PRF  
 「学生たちは誰も参加しなかった」
- f. sátró-sátrí bək-é jok nó-dón.  
 student-student.F all-AGT part NEG.PRF-NEG.give.3PL.PRS.PRF  
 「学生はみんな参加しなかった」

(292-a) と(292-c) は, (293-a) や(293-b) にしめすように, 部分否定の解釈もありうる. (292-b) のように, 「全員」が先行するときは, 「学生」は複数形にしなければ非文となる.

(292-d) のように, 「学生」と「全員」の両方に動作主格をつけると非文となる. どちらか片方であれば, 非文ではない. また, (292-d) に部分否定の解釈はない.

10-13 全ての学生が参加したわけではない。【数量の部分否定】

- (293) a. {bək/\*bək-kún} sátró-sátrí-un(-ε) jok nó-dón.  
 {all/\*all-PL} student-student.F-PL(-AGT) part NEG-NEG.give.3PL.PRS.PRF  
 「すべての学生たちが参加したわけではない」
- b. sátró-sátrí(-un) bək-kún(-é) jok nó-dón.  
 student-student.F(-PL) all-PL(-AGT) part NEG-NEG.give.3PL.PRS.PRF  
 「学生たちはすべてが参加したわけではない」

(293-a) も(293-b) も, (292-a) や(292-c) にしめすように, 全部否定の解釈もありうる.

10-14 (私は買わなかった. しかし, 決して) 値段が高いというわけではない. 【文の否定】

- (294) {εμόν/édíkke} nɔy je dam xúp bæc.  
 {such/like.this} be.NEG.PRS that price very too.much  
 「値段があまりに高いというのではない」

10-15 走るな! 【禁止】

- (295) nɔ-dumuric!  
 NEG-run.2SG.FUT.IMP  
 「走るな!」

10-16 大きな声を出すな! 【他動詞文の禁止】

- (296) da(ŋ)ór rɔ nɔ-goríc!  
 big sound NEG-do.2SG.FUT.IMP  
 「大きな声をだすな (直訳: 大きな音をするな) !」

10-17 明日は雨は降らないだろう. 【推量の否定】

- (297) mɔnɛ úy ejétté xelle jór nɔ-óbó.  
 heart.LOC become.3SG.PRS coming one.day.from.today rain NEG-become.3SG.FUT  
 「思うに明日雨にならない」

10-18 あの人の聞こえないように, 小さな声で話してくれ. 【目的節の否定】

- (298) a. tɛ nɔ-súné=ɸará, siyon rɔ gorí xɔdá xɔ!  
 3SG NEG-hear.3SG.PRS=in.order.to small sound do.CVB language speak.2SG.PRS.IMP  
 「その人が聞けないように, 小さい音で話をしなさい」  
 b. siyon rɔ gorí xɔdá xɔ, tɛ nɔ-súné=ɸára.  
 small sound do.CVB language speak.2SG.PRS.IMP 3SG NEG-hear.3SG.PRS=in.order.to  
 「小さい音で話をしなさい, その人が聞けないように」

10-19 私はあなたを怒らせようと思ってそう言ったんじゃない. 【否定のスキープの調節】

- (299) muy tɔré rak gorí=bár=téy sédíkke gorí  
 1SG 2SG.ACC anger do.CVB=NMLS.GEN=PURP like.that do.CVB  
 nɔ-xɔŋ.  
 NEG.PRF-NEG.say.1SG.PRS.PRF  
 「私はあなたを怒らせるためにそのように言わなかった (意訳: 私はあなたを怒らせるために, そのようにではなく, 別の言い方をした)」

10-20 私が昨日買ってきた本はどこ (にある)? 【内の関係の連体修飾節・目的語】

- (300) a. mɔr gelle xelle(-r) xina boóy-bó xudú?  
 1SG.GEN gone one.day.from.today(-GEN) buy.VN book-DEF where  
 「私の昨日 (の) 買った本はどこ?」

- b. mər gelle xelle(-r) xinne(=\*dɛ) boóy-bó xudú?  
 1SG.GEN gone one.day.from.today(-GEN) buy.3SG.PRS.PRF(=\*NMLS) book-DEF where  
 「私の昨日 (の) 買った本はどこ？」
- c. muy gelle xelle(-\*r) xinn(y)óŋ=ŋé boóy-bó xudú?  
 1SG gone one.day.from.today(-\*GEN) buy.1SG.PRS.PRF=NMLS book-DEF where  
 「私が昨日買った本はどこ？」
- d. gelle xelle xinne(=\*dɛ) mər boóy-bó xudú?  
 gone one.day.from.today buy.3SG.PRS.PRF(=\*NMLS) 1SG.GEN book-DEF where  
 「昨日買った私の本はどこ？」

10-21 その本を持って来た人は誰 (か) ? 【内の関係の連体修飾節・主語】

- (301) boóy-bó anné(=té)<sup>86</sup> manuc-có xonná?  
 book-DEF bring.3SG.PRS.PRF(=NMLS) person-DEF who  
 「その本を持って来た人は誰？」

10-22 この部屋が私たちの仕事をしている部屋です。【内の関係の連体修飾節・場所】

- (302) a. e gór-an(=dɔ) amár xam góráná(-r)<sup>87</sup> rum.  
 this room-DEF(=FOC) 1PL.GEN work(n) do.VN(-GEN) room  
 「この部屋が私たちの仕事をする部屋です」
- b. e gór-an(=dɔ) amár xam góra-r rum.  
 this room-DEF(=FOC) 1PL.GEN work(n) do.VN(-GEN) room  
 「この部屋が私たちの仕事をする部屋です」

10-23 足が1本折れたあの椅子はもう捨ててしまった。【内の関係の連体修飾節・所有者】

- (303) ek(-kán) téŋ báŋá seár-án(-ó-rɛ) fɛ́le diyóŋ.  
 one(-CLF) foot break.VN chair-DEF(-EP-ACC) throw.away.CVB give.1SG.PRS.PRF  
 「1本の足が壊れた椅子を捨ててやった」

10-24 ドアを叩いている音が聞こえる。【外の関係の連体修飾節】

- (304) duor-ɔ-t nɔk góráná(-r) rɔ súná jay.  
 door-EP-LOC knock(n) do.VN(-GEN) sound hear.VN go.3SG.PRS  
 「ドアでノックする音が聞こえる」

<sup>86</sup> anné ‘bring.3SG.PRS.PRF’ はぞんざいな言い方である。anné=té ‘bring.3SG.PRS.PRF=NMLS’ というほうが丁寧である。

<sup>87</sup> (302-a) には「仕事をさせる部屋」という意味もある。また góráná ‘do.VN’ のように属格なしでいうと「仕事をした (させた)」という意味になる。

10-25 あの人が結婚したという噂は本当（か）？【外の関係の連体修飾節】

- (305) a. tar {mok/nɛk} lɔná<sup>88</sup> xóbor xi sóttó?  
 3SG.GEN {wife/husband} take.VN news PQ truth  
 「彼（女）の結婚したニュースは本当か？」
- b. tɛ {mok/nɛk} loyé=tɛ xóbor xi sóttó?  
 3SG {wife/husband} take.3SG.PRS.PRF=NMLS news PQ truth  
 「彼（女）が結婚したニュースは本当か？」

10-26 私はその人が来た時にご飯を食べていた。【時間節】

- (306) a. tɛ eccé=tɛ sólá-t sékke muy bát xáɲɔr.  
 3SG come.3SG.PRS.PRF=NMLS time-LOC then 1SG food eat.1SG.PRS.PROG  
 「その人が来た時，その時私はご飯を食べていた」
- b. jɛkké tɛ eccé sékke<sup>89</sup> muy bát xáɲɔr.  
 time.when 3SG come.3SG.PRS.PRF then 1SG food eat.1SG.PRS.PROG  
 「その人が来た時，その時私はご飯を食べていた」

10-27 私はその人が待っている所に行った。【場所節】

- (307) a. tɛ baccé(y) agé=tɛ jaga-t muy jeyóɲ.  
 3SG wait.CVB exist.3SG.PRS=NMLS place-LOC 1SG go.1SG.PRS.PRF  
 「その人が待っているところに私は行った」
- b. jidú tɛ baccé(y) agé sídu muy jeyóɲ.  
 place.where 3SG wait.CVB exist.3SG.PRS there 1SG go.1SG.PRS.PRF  
 「その人が待っているところ，そこに私は行った」

10-28 私はその人が走っていったのを見た。【補文節・視覚】

- (308) a. tar dumur-án(-ó-rɛ) muy dekkóɲ.  
 3SG.GEN run(n)-DEF(-EP-ACC) 1SG see.1SG.PRS.PRF  
 「その人の走るのを私は見た」
- b. tɛ dumujjé=tɛ-yan(-ɔ-rɛ) muy dekkóɲ.  
 3SG run.3SG.PRS.PRF=NMLS-DEF(-EP-ACC) 1SG see.1SG.PRS.PRF  
 「その人が走ったのを私は見た」

<sup>88</sup> *mok lɔná* ‘wife take.VN’ は「男が女と結婚する」，*nɛk lɔná* ‘husband take.VN’ は「女が男と結婚する」という意味である。

<sup>89</sup> *sékke* ‘then’ は *muy* の前にも後にもくることができる。ここでは、前にくる例のみをしめた。また、ベンガル語には過去進行形が動詞の活用として存在する一方、チャクマ語には過去進行形が存在しない。*sékke* ‘then’ に現在進行形をくみあわせることで、過去進行形を表現する。

10-29 昨日の夜, 私は彼らがしゃべっているのを聞いた. 【補文節・聴覚】

- (309) a. gelle rɛt̚ɔ-t tará-r xodá xoná-ani(-re) muy súnn(y)on̚.  
 gone night-EP-LOC 3PL-GEN word say.VN-DEF.PL(-ACC) 1SG hear.1SG.PRS.PRF  
 「昨夜彼らが (直訳: の) 話をするのを私は聞いた」
- b. gelle rɛt̚ɔ-t tará xodá hóyón=ɬé-yani(-re) muy  
 gone night-EP-LOC 3PL word say.3PL.PRS.PRF=NMLS-DEF.PL(-ACC) 1SG  
 súnn(y)on̚.  
 hear.1SG.PRS.PRF  
 「昨夜彼らが話をしたのを私は聞いた」

10-30 私はその人が昨日ここに来たことを知っている. 【補文節・知識】

- (310) tɛ gelle xelle idú eccé=ɬé<sup>90</sup> muy janon̚.  
 3SG gone one.day.from.today here come.3SG.PRS.PRF=NMLS 1SG know.1SG.PRS  
 「その人が昨日ここに来たのを私は知っている」

10-31 (昨日) 彼は彼が今日ここに来たと言った. / (昨日) 彼は, 「私は今日ここに来た」と言った. 【補文節・直接発話/間接話法】

- (311) a. gelle xelle tɛ xóyé=ɬé tɛ ecce idú  
 gone one.day.from.today 3SG say.3SG.PRS.PRF=NMLS 3SG today here  
 eccé.  
 come.3SG.PRS.PRF  
 「彼は今日<sup>91</sup> ここに来たということを, 昨日彼は言った」(間接話法)
- b. gelle xelle tɛ xóyé(=ɬé) “muy ecce idú  
 gone one.day.from.today 3SG say.3SG.PRS.PRF(=NMLS) 1SG today here  
 eccón̚”.  
 come.1SG.PRS.PRF  
 「『私は今日来た』と昨日彼は言った」(直接話法) (直訳: 昨日彼が言ったこと (は) 『私は今日ここに来た』 (ということだ))

口語では直接話法という傾向にある. 間接話法は文語でよりおおくもちいられるようだ.

10-32 私はリンゴが (あの) 皿の上にあったのを食べた. 【内在節・従主・主主】

- (312) a. je abél-ló o bajón-nó(-r) u(g)ure eló sí-be muy  
 that.REL apple-DEF that plate-DEF(-GEN) place.above exist.3SG.PST that-DEF 1SG  
 xéyon̚.  
 eat.1SG.PRS.PRF  
 「リンゴがああ皿の上にあったの, それを私は食べた」

<sup>90</sup> (308b) のように=ɬéのあとに yan-ɔ-re ‘-DEF-EP-ACC’ を付加できるかどうかは不明である.

<sup>91</sup> 発話時点からみて「今日」ということ. すなわち, 現在からみれば「昨日」である.

b. abɛl-ló o bajón-nó(-r) u(g)urɛ ɛlɔ́ ji-bé muy  
apple-DEF that plate-DEF(-GEN) place.above exist.3SG.PST thing.which-DEF 1SG  
xéyoŋ.

eat.1SG.PRS.PRF

「リンゴがあの皿の上にあった，それを私は食べた」

c. o bajón-nó(-r) u(g)urɛ ɛlɔ́=té abɛl-ló(-rɛ) muy  
that plate-DEF(-GEN) place.above exist.3SG.PST=NMLS apple-DEF(-ACC) 1SG  
xéyoŋ.

eat.1SG.PRS.PRF

「あの皿の上にあったリンゴを私は食べた」

(312-a) では，相関関係文をもちいて前文のリンゴを後文の *sí=be* で同一指示している．(312-b) では，前文の内容である「リンゴがあの皿の上にあった」ということを後文の *ji-bé* でうけている．(312-c) では，リンゴを主要部とする名詞修飾節が文全体の目的語となっている．以下の(313) も同様に解釈される．

### 10-33 私はネコが家に入ってきたのを捕まえた．【内在節・従主・主目】

(313) a. je biley-bó gór-ó-t sómme-gi sí-be(-rɛ) muy  
that.REL cat-DEF house-EP-LOC enter.3SG.PRS.PRF-VEN that-DEF(-ACC) 1SG  
dójjɔŋ.

hold.1SG.PRS.PRF

「家に入ってきた猫，それを私は捕まえた」

b. biley-bó gór-ó-t sómme-gi ji-bé(-rɛ) muy  
cat-DEF house-EP-LOC enter.3SG.PRS.PRF-VEN thing.which-DEF(-ACC) 1SG  
dójjɔŋ.

hold.1SG.PRS.PRF

「猫が家に入ってきた，それを私は捕まえた」

c. gór-ó-t sómme-gi=tɛ biley-bó(-rɛ) muy dójjɔŋ.  
house-EP-LOC enter.3SG.PRS.PRF-VEN=NMLS cat-DEF(-ACC) 1SG hold.1SG.PRS.PRF  
「家に入ってきた猫を私は捕まえた」

### 参考文献

- 風間伸次郎. 2020. 「英語：特集補遺データ「受動表現」「アスペクト」「モダリティ」「ヴォイスとその周辺」「所有・存在表現」「他動性」「連用修飾複文」「情報構造と名詞述語文」「情報構造の諸要素」「否定，形容詞と連体修飾複文」『語学研究所論集』25: 139–171. <https://doi.org/10.15026/100161>.
- 藤原敬介. 2019. 「チャクマ語音韻論」『言語記述論集』11: 51–102.
- 藤原敬介. 2022. 「ベンガル語：特集補遺データ「受動表現」「アスペクト」「モダリティ」「ヴォイスとその周辺」「所有・存在表現」「他動性」「連用修飾複文」「情報構造と名詞述語文」「情報構造の諸要素」「否定，形容詞と連体修飾複文」『語学研究所論集』26: 359–438.

Chakma: ‘Passive expression’, ‘Aspect’, ‘Modality’, ‘Voice and related expressions’ etc., HUZIWARA Keisuke

Bhattacharyya, Sumana. 2004. *A linguistic study of Chakma*. Ph.D. thesis, University of Calcutta.

Debnath, Rupak. 2025. *The Chakma language: growth and structure*. Delhi: Akansha Publishing House.

Grierson, George A. 1903. *Linguistic Survey of India, V(1)—Indo-Aryan Family: Eastern Group: Specimens of the Bengali and Assamese Languages*. Calcutta: Office of the Superintendent of Government Printing.

Maniruzzaman. 1984. Notes on Chakma phonology. In Mahmud Shah Qureshi (ed.), *Tribal cultures in Bangladesh: 73–89*. Rajshahi: Institute of Bangladesh Studies, Rajshahi University.

執筆者連絡先 : huziwarak@shse.u-hyogo.ac.jp

原稿受理 : 2025 年 12 月 21 日

刊行年月日 : 2026 年 3 月 31 日